

LUMIST

アルミ製オープン階段 [ルミスト]

施工説明書

必ずお読みください

施工される方へ

施工前に製品をよくお確かめください。

品質管理には万全を期していますが、万一品質に不都合な点がございましたら、販売店様または弊社営業まですぐにご連絡ください。施工前の製品に限り、販売店様を通じて代替品と交換させていただきます。施工後の交換、補修は致しかねますので必ず施工前にご確認をお願いします。

ご注意

- 施工前に必ず本説明書をよくお読みのうえ、正しく施工を行なってください。
- 特に『警告・注意』は必ずお守り下さい。施工される方や、ご使用になる方、他の人への危害・財産への損害を未然に防止するため、厳守すべき内容を以下に区分表示で説明しています。
- 本書にそわず、間違った施工・取り扱いを行なった場合には、当社での保証はしかねますのでご注意ください。

警告表示の種類と内容

人身事故や財産の損害を未然に防止するために、製品の施工・取扱方法について次のような警告表示をしています。内容を、ご理解のうえ、正しく安全に施工を行なってください。

誤った取り扱いをした場合に生じる危険とその程度を、次レベルで説明しています。

⚠ 警告 この表示を無視して誤った取り扱いを行なうと使用者などが死亡または重症を負うことが想定される危害の程度を示す。

⚠ 注意 この表示を無視して誤った取り扱いを行なうと使用者などが傷害(※1)を負うことが想定されるか、物的損害(※2)の発生が想定される危害・損害の程度を示す。

(※1) 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、ケガなどをさす。

(※2) 物的損害とは、家屋・家財に関わる拡大損害をさす。

本文中に使われている図記号の意味は、次のとおりです。



「してはいけない」を示します。



「必ず行なっていただくこと」を示します。

安全上のご注意

製品の品質劣化や人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

⚠ 警告

⊘ 室内階段以外の転用・改造

- 非常階段としては設置できません。●耐火建築物、準耐火建築物(30分耐火が必要な場合)に主要構造物の階段としては設置できません。

⊘ 指定された部品以外の使用禁止

強度が保たれず破損・ケガのおそれがあります。

⚠ 上部取付板・下部取付板の事前確認

強度が保たれず破損・ケガのおそれがあります。

⚠ 注意

本製品の取り付けには下地補強が必要です。施工前に下地補強を再度ご確認ください。

⚠ 下地補強を必ず行なう

強度が保たれず破損・ケガのおそれがあります。下記の条件を満たした下地補強を行なってください。

【上部取付板】

- 取付板用のボルト固定位置の補強は105角以上の木材を必ずご使用ください。
- 取付板下地には必ず合板をご使用ください。(石膏ボード下地は不可。階段が外れるおそれがあります。)

※詳しくは各階段タイプの **施工上のご注意 下地補強** をご覧ください。

【下部取付板】

- 下部取付板は1階フロア上に取り付けてください。
- 取付板の下には、必ず補強用の大引きを施工してください。
- 取付板設置面は、下地合板と仕上げ材で24mm以上の厚みが必要です。

⚠ 施工・取付作業は必ず2人以上で行なう。

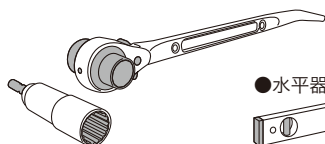
破損・ケガのおそれがあります。

⚠ 注意 このマークは本文中で施工方法の注意点やポイントを表示しています。

施工に必要な工具

「アルミ製オープン階段ルミスト」施工時において、以下の工具が必要となります。

●17mmソケットレンチ



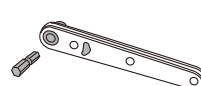
●水平器

●+T字ドライバー (長さ10cm程度)

⊕3



●ラチェット6角レンチ



●6角レンチ
5・6mm

●10mmスパナ
(3段廻りタイプ)



●ロングビット (長さ20cm程度)

⊕2、⊕3ビット



●φ10木エンドリル



●φ6木エンドリル



●φ4木エンドリル

●φ2鉄エンドリル

「階段用、上階用アルミ手摺」の加工において、以下の工具が必要となります。

●押し切り丸のこ

●ノミ

●ロングビット (長さ20cm程度) ⊕2、⊕3ビット

目次

製品図面 1

階段本体取り付け

ストレートタイプ 7

L・U型タイプ 11

3段廻りタイプ 19

手摺の取り付け

フレームタイプ 27

バータイプ

ショートフレームタイプ

ポイントタイプ

笠木の取り付け 30

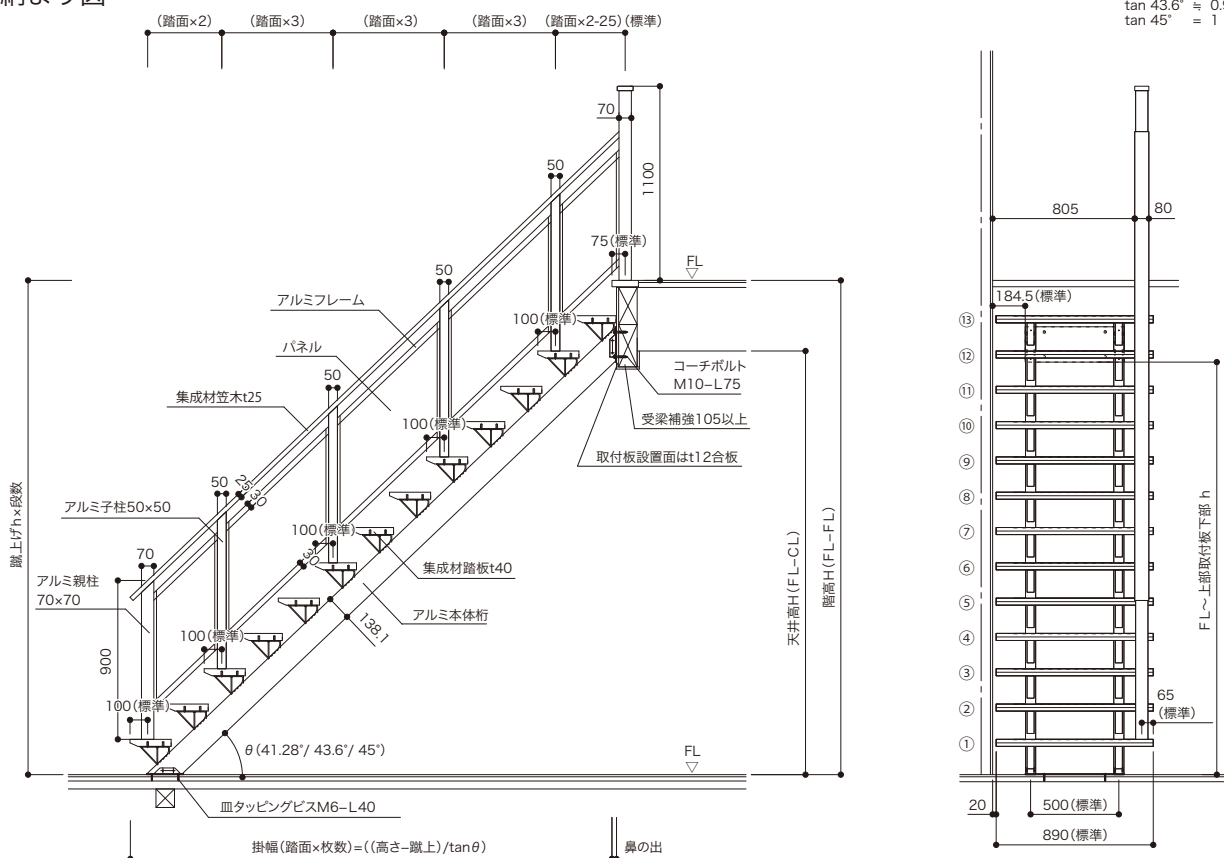
エンドスタッド仕様 31

上階用アルミ手摺セット .. 32

アルミ階段ストレートタイプ(13段・フレームタイプ)

■納まり図

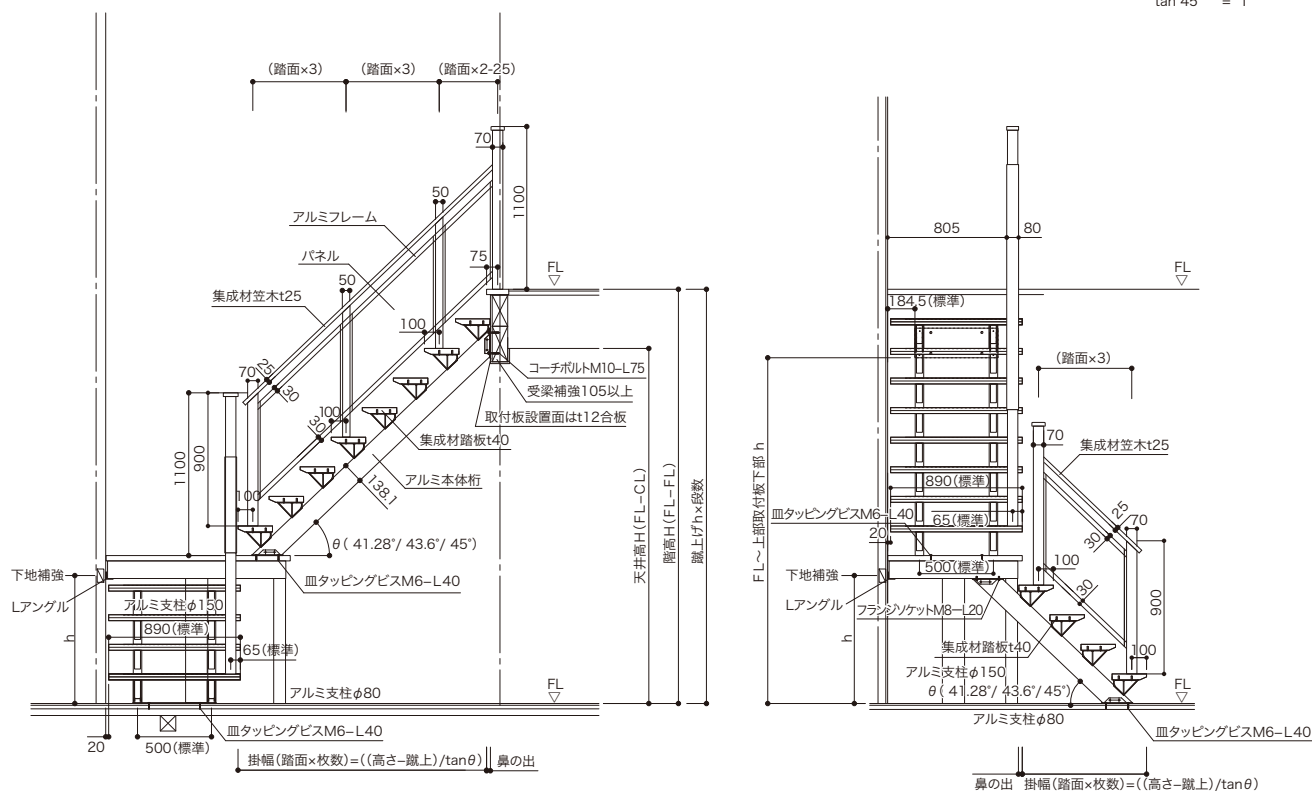
单位:mm

$$\begin{aligned}\tan 41.28^\circ &\approx 0.8779 \\ \tan 43.6^\circ &\approx 0.9523 \\ \tan 45^\circ &= 1\end{aligned}$$


アルミ階段L型タイプ(13段・フレームタイプ)

■納まり図

單位:mm

$$\begin{aligned}\tan 41.28^\circ &\approx 0.8779 \\ \tan 43.6^\circ &\approx 0.9523 \\ \tan 45^\circ &= 1\end{aligned}$$


U型タイプ・3段廻りタイプ 納まり図

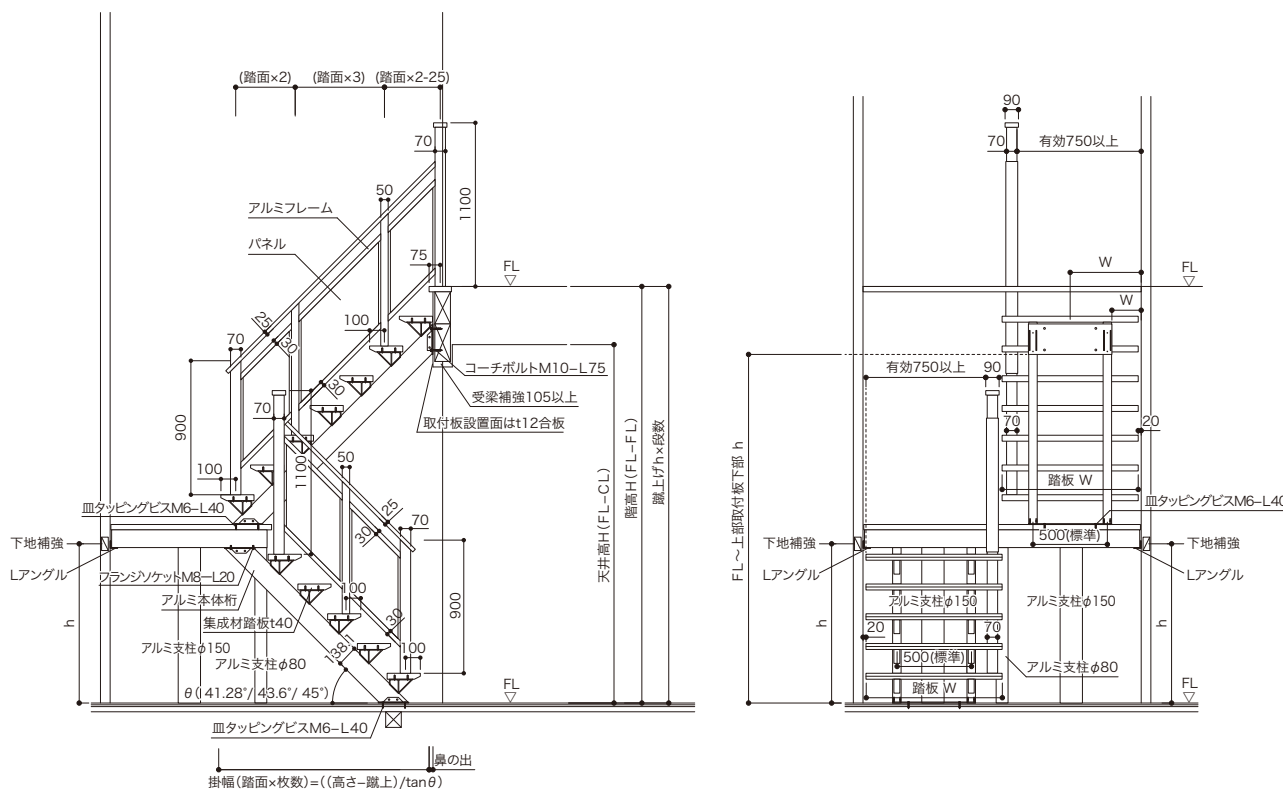
2

アルミ階段U型タイプ(13段・フレームタイプ)

単位:mm

■納まり図

$\tan 41.28^\circ \approx 0.8779$
 $\tan 43.6^\circ \approx 0.9523$
 $\tan 45^\circ = 1$



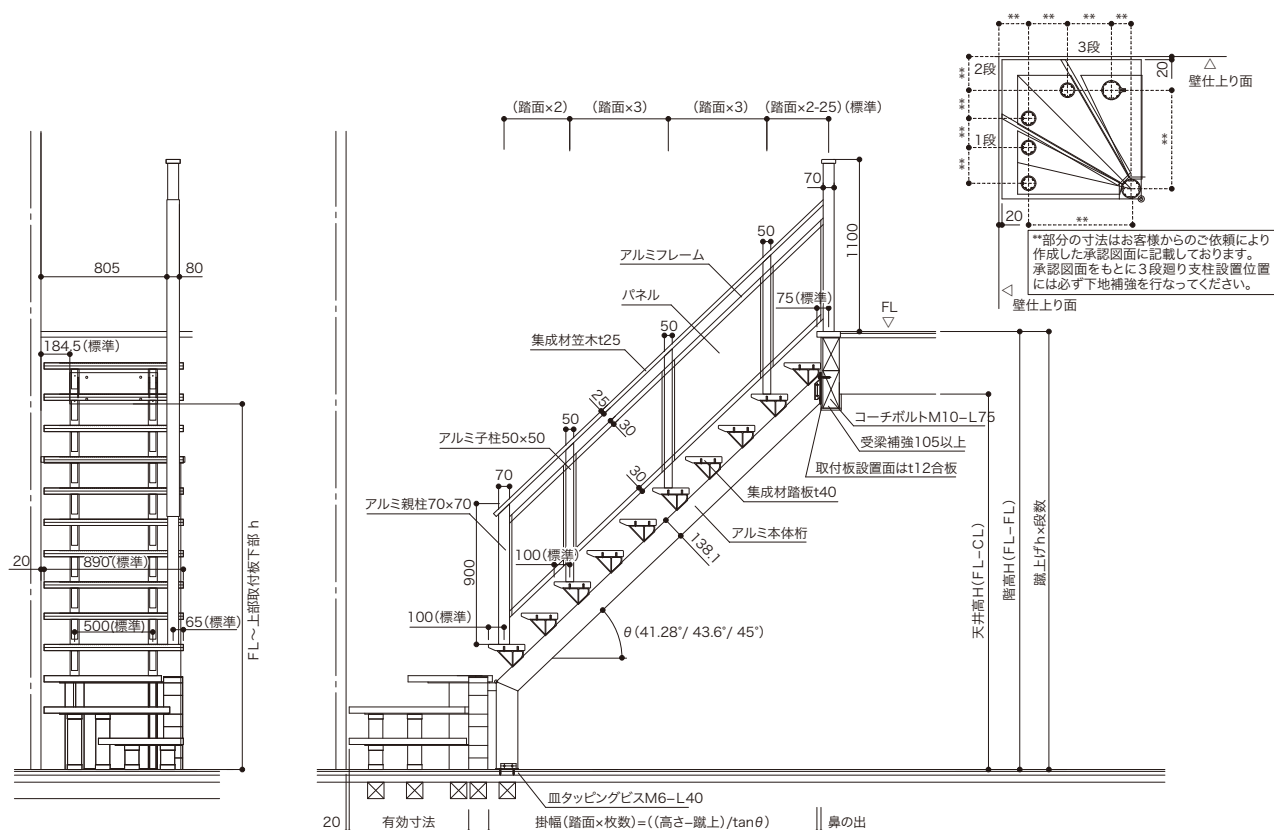
アルミ階段 3段廻りタイプ(13段・フレームタイプ)

単位:mm

■納まり図

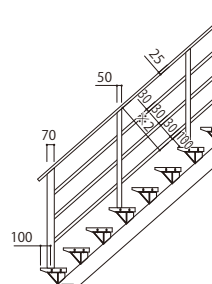
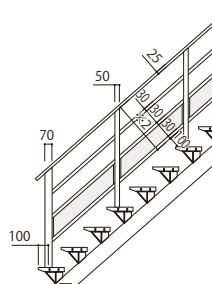
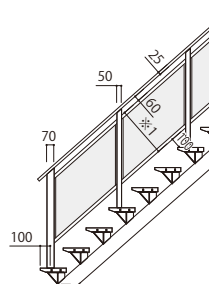
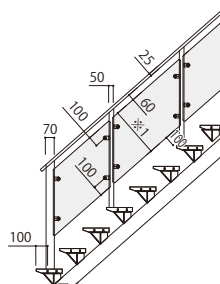
[上面図(3段廻り部)]

$\tan 41.28^\circ \approx 0.8779$
 $\tan 43.6^\circ \approx 0.9523$
 $\tan 45^\circ = 1$



■階段手摺

单位:mm

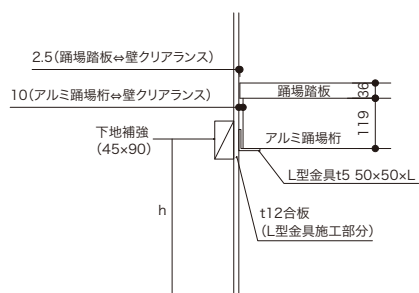
☐ ポイントタイプ☐ フレームタイプ☐ ショートフレームタイプ☐ バータイプ

※1 現場にあわせて変更 ※2 現場にあわせて均等配置

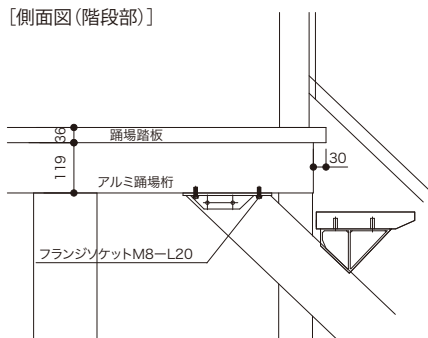
■踊場部分納まり図

单位:mm

〔側面図(壁面部)〕



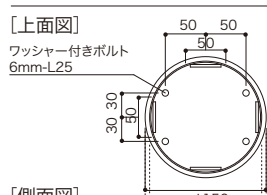
[側面図(階段部)]



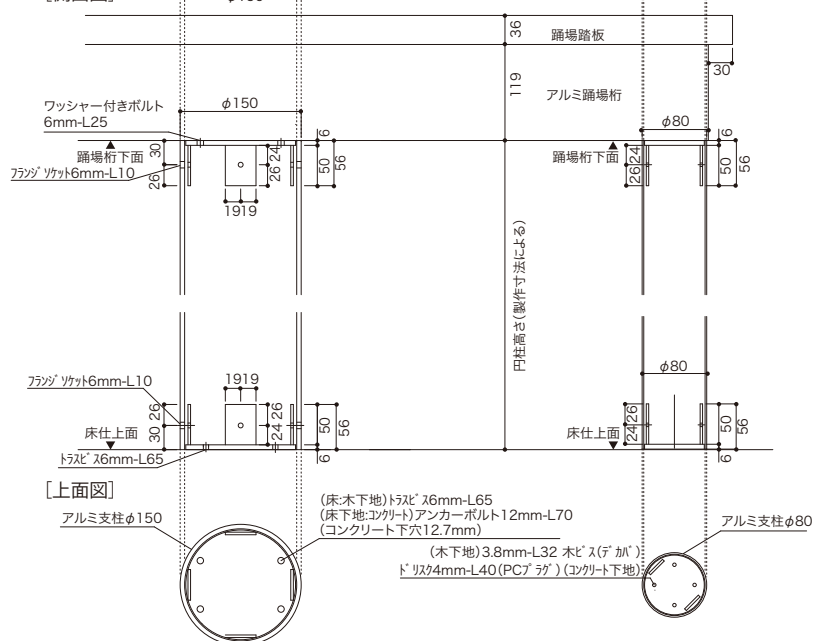
■踊場支柱

单位:mm

「上面図」



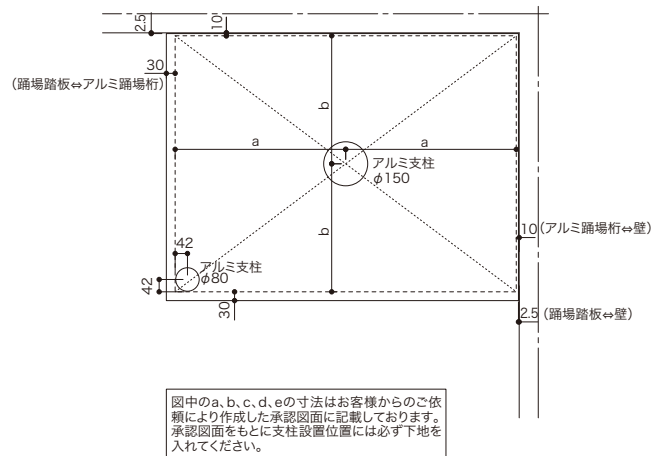
[側面図]



■アルミ階段L型タイプ 踊場

单位:mm

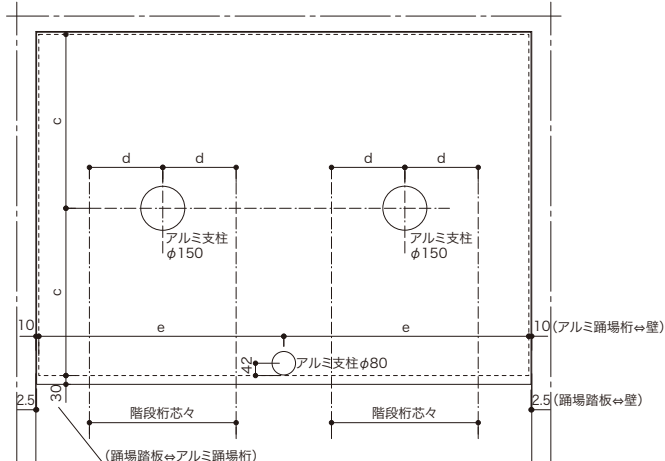
[上面図]



■アルミ階段 U型タイプ 踊場

单位:mm

[上面図]



上階用アルミ手摺セット 詳細図

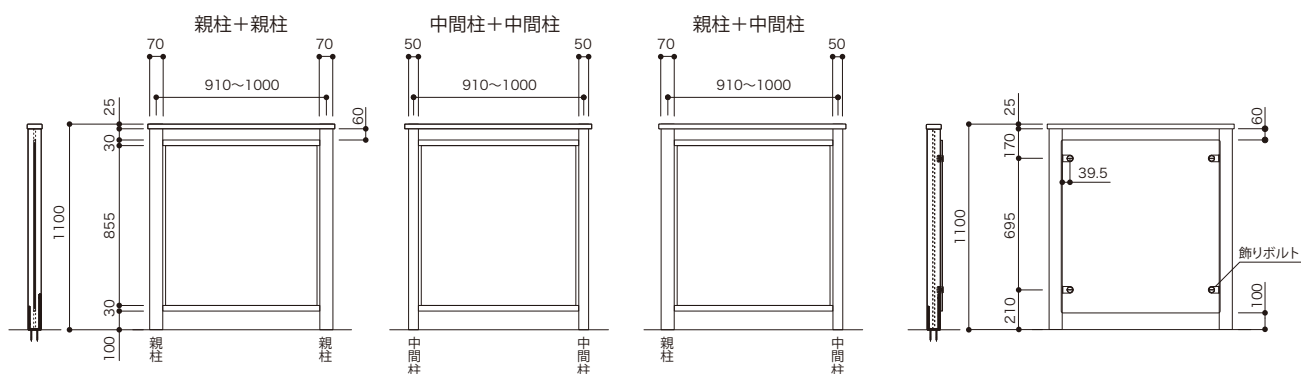
4

■上階用アルミ手摺

単位:mm

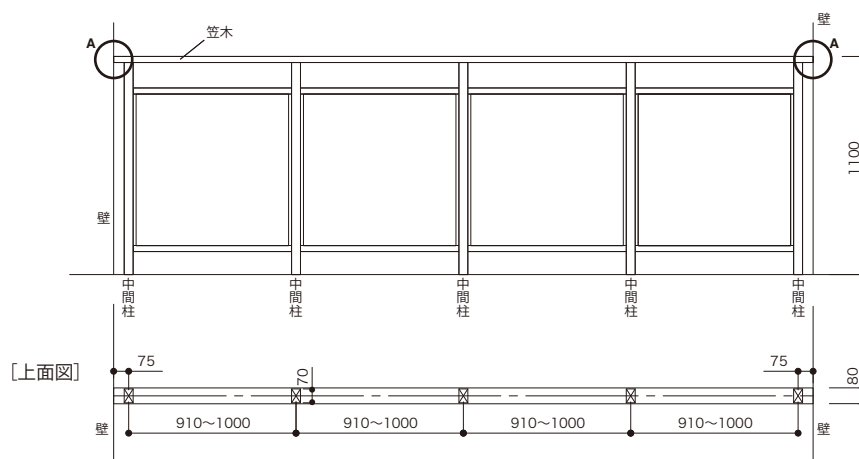
□ フレームタイプ

□ ポイントタイプ



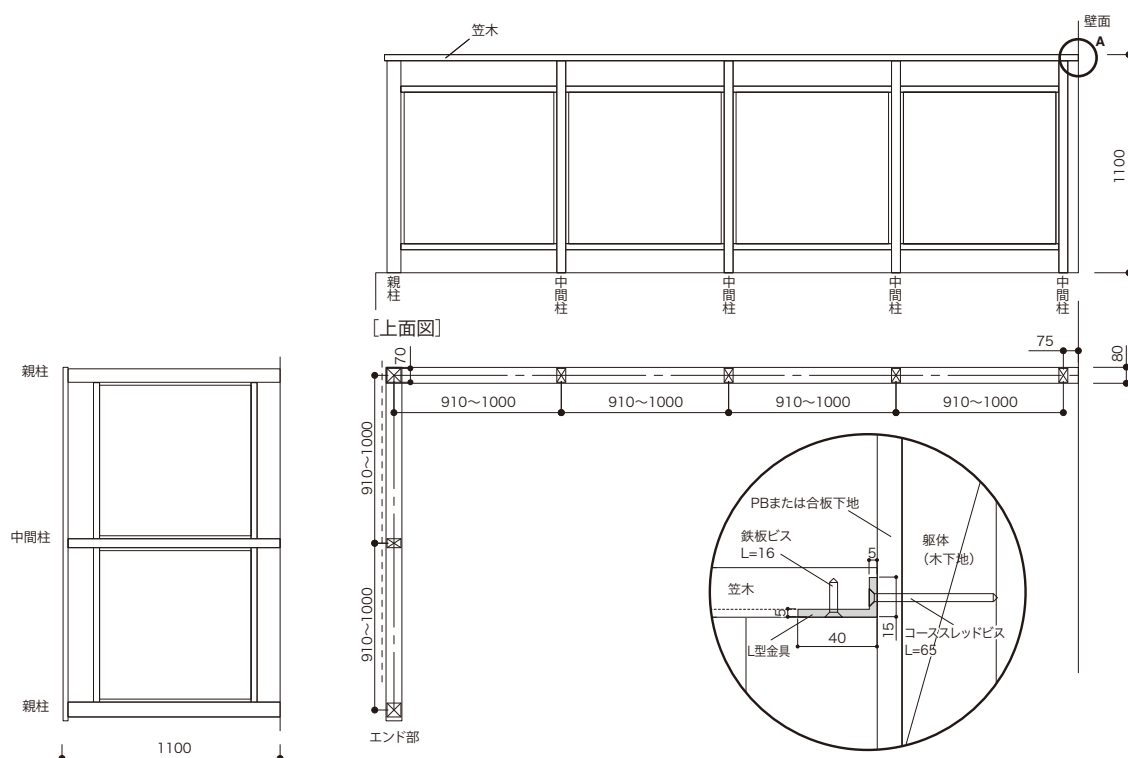
■両側突きつけ施工

単位:mm



■L字施工 (片側壁付け)

単位:mm



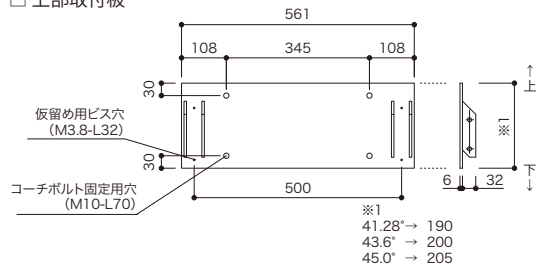
A拡大
L型金具を使用した壁との納まり図

※親柱設置条件…コーナー部及び壁付けで終わらないエンド部

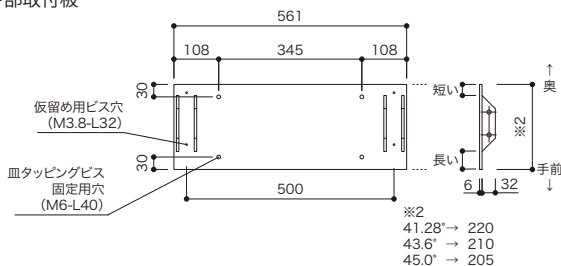
■取付板

単位:mm

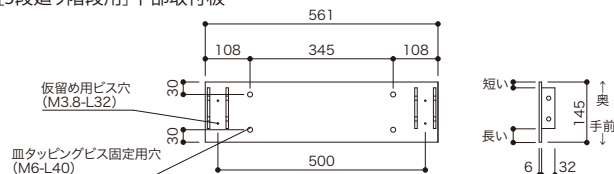
□ 上部取付板



□ 下部取付板

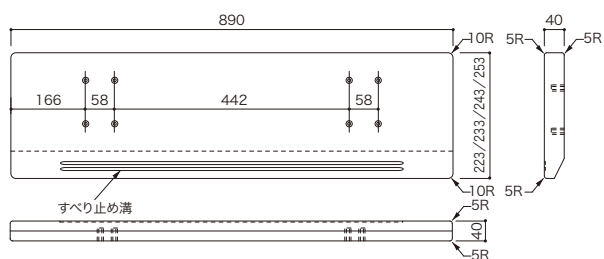


□ [3段廻り階段用] 下部取付板



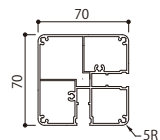
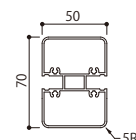
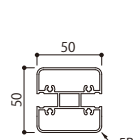
■踏板

単位:mm



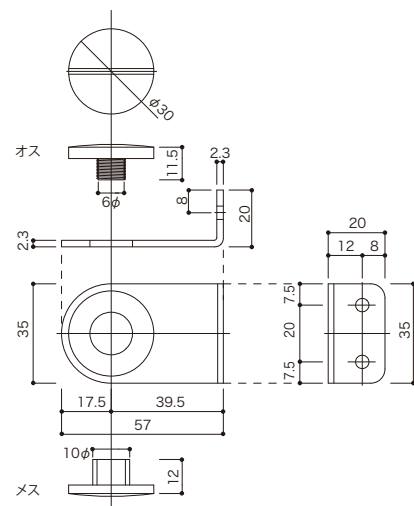
■手摺支柱断面

単位:mm

□ 親柱
階段手摺
上階用アルミ手摺□ 中間柱
上階用アルミ手摺□ 子柱
階段手摺

■飾りボルト〈ポイントタイプのみ〉

単位:mm

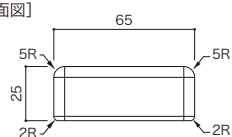


■笠木

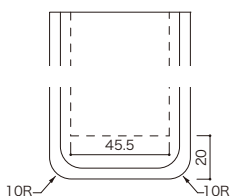
単位:mm

□ 笠木65幅

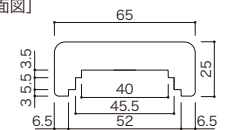
[側面図]



[上面図]

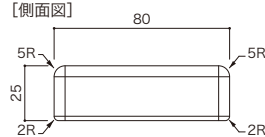


[断面図]

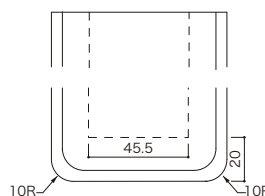


□ 笠木80幅

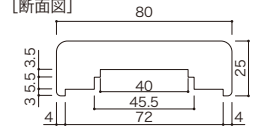
[側面図]



[上面図]



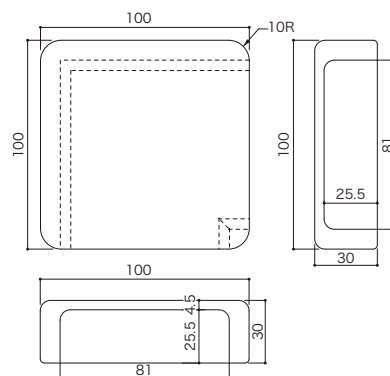
[断面図]



製品寸法 L=1000,2000,3000,4000,5000

■コーナーキャップ

単位:mm

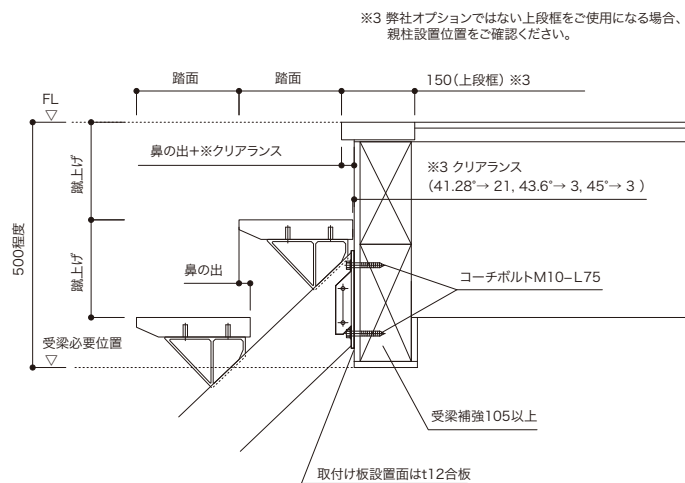


上部取付板・下部取付板・階段手摺 納まり図

6

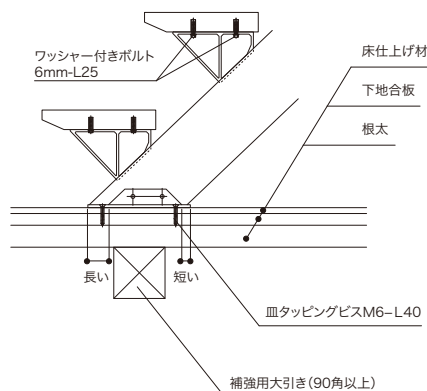
■上部取付板納まり図

単位:mm



■下部取付板納まり図

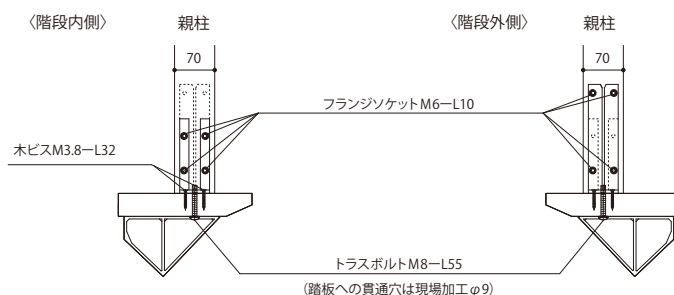
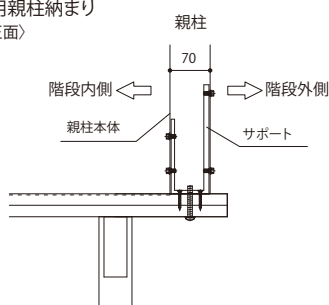
単位:mm



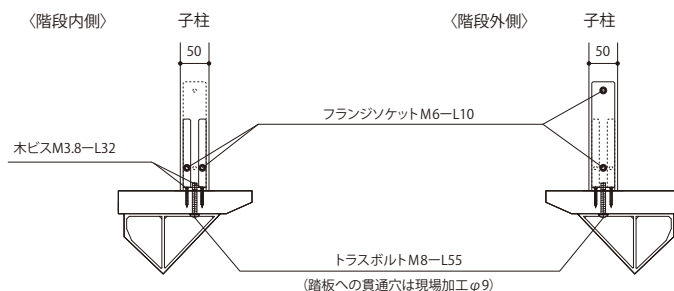
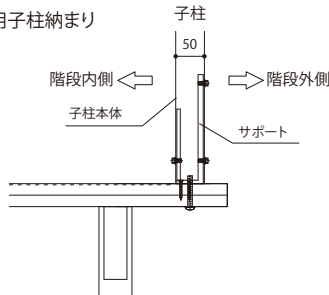
■アルミ階段 手摺柱納まり図

単位:mm

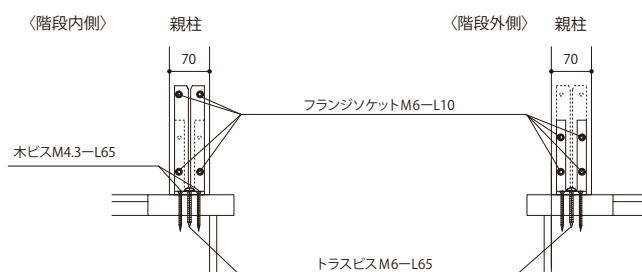
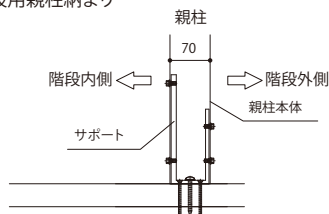
□ 階段用親柱納まり (正面)



□ 階段用子柱納まり (正面)



□ 最上段用親柱納まり (正面)



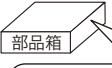
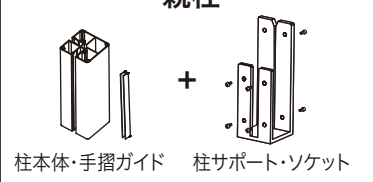
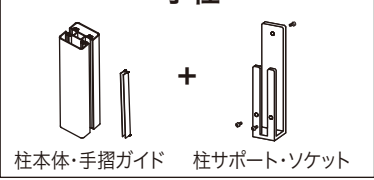
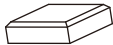
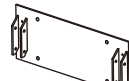
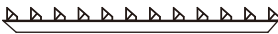
※親柱、子柱の加工方向は現場によって変わることがあります。



部品表

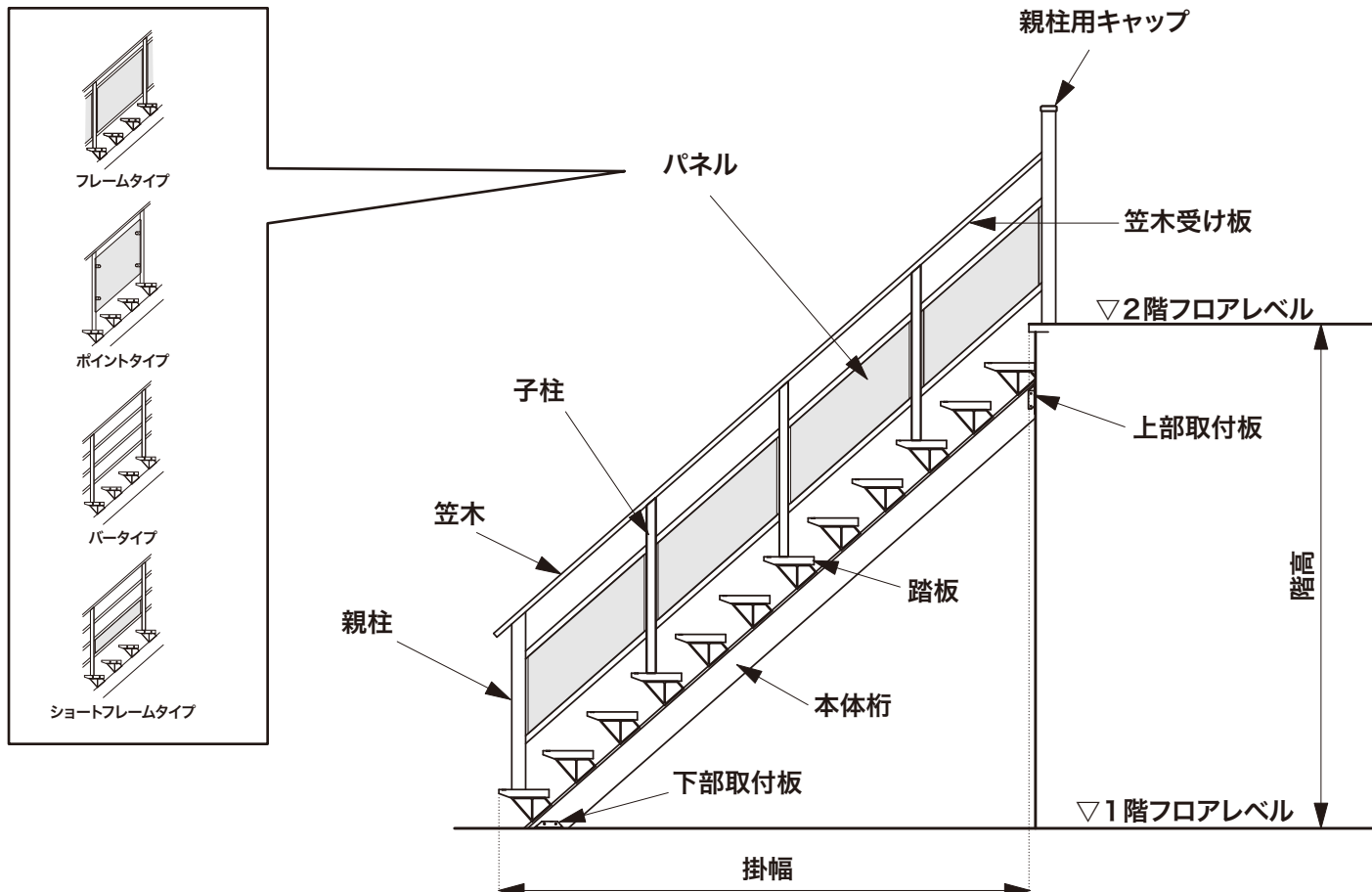


製品には万全を期しておりますが、開梱時には部品箱に同梱されている「部品明細書」を参考に部品点数をお確かめください。

部品箱  部品箱 ・施工説明書 ・部品明細書 ・設置図面(組立図) ・各部品	踏板  親柱  柱本体・手摺ガイド 柱サポート・ソケット 子柱  柱本体・手摺ガイド 柱サポート・ソケット	笠木受け板  笠木  紙ヤスリ 塗料 ※ パネル  フレームタイプ ポイントタイプ 親柱用キャップ 
上部取付板  下部取付板  本体桁 		

※塗料が分離している場合がありますが、使用上問題はあります。使用前によく混ぜてから塗布してください。

各部の名称



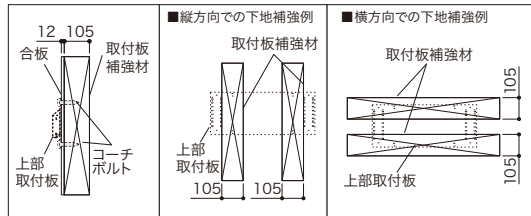


施工上のご注意

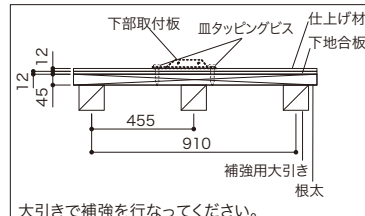
下地補強

上部取付板・下部取付板の取り付け前に位置確認を行ない、取り付け位置に補強がない場合は必ず補強後施工してください。

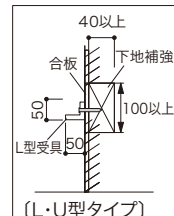
◎ 上部取付板の補強例



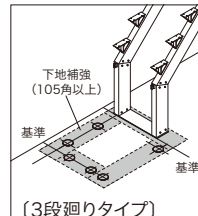
◎ 下部取付板の補強例



◎ L型受具の補強例



◎ 支柱受けの補強例



【 上部取付板 】

- 取付板用のボルト固定位置の補強は105角以上の木材を必ずご使用ください。
- 取付板下地には必ず合板をご使用ください。
(石膏ボード下地は不可。階段が外れるおそれがあります。)

【 下部取付板 】

- 下部取付板は1階フロア上に取り付けてください。
- 取付板の下には、必ず補強用の大引きを施工してください。
- 取付板設置面は、下地合板と仕上げ材で24mm以上の厚みが必要です。

単位:mm

その他の施工に関する注意事項

- 指定してあるボルト止め・ビス止め箇所は確実に実施してください。●ボルト止め・ビス止めの際、製品に傷がつかないように注意してください。
- 本体桁・踏板の垂直度を正確に出して施工してください。

■施工時の製品取り扱いに関する注意事項

- 階段本体を故意に揺すったり、過度な衝撃を与えたりしないでください。ボルトのゆるみやきしみの原因となり、破損につながるおそれがあります。
- 踏板・踊場の上部に物を置かないでください。階段の昇降の妨げになり、落下すると危険です。
- 手摺にぶら下がったり、手摺の上ののぼったりしないでください。
- 踏板上下の間や、手摺と踏板の間から手足や顔等を出さないようにしてください。ケガの原因となるおそれがあります。
- 製品の特性上多少の揺れが生じますが、強度に影響するものではありません。ご了解のうえ、設置願います。
- 汚れた場合のお手入れは、固く絞った雑巾で水拭きするのみでかまいません。落ちにくい汚れの場合は、中性洗剤を使って拭き取ってください。
- パネル部分は水で200倍程度に薄めた中性洗剤を浸した柔らかい布を絞り、軽く拭き取ってください。
- 踏板は木質ですが、ワックスをかけると滑りやすくなり、転倒のおそれがありますので、ワックスのご使用はお避けください。
- シンナー・ベンジン等のご使用はお避けください。製品表面が変色するおそれがあります。

施工の手順

施工前の準備

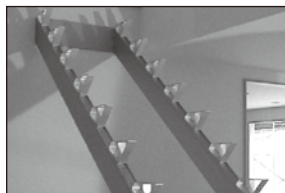
階段部品の種類・品数の確認 ▶ 階段設置図(組立図)と現場寸法の再確認

施工

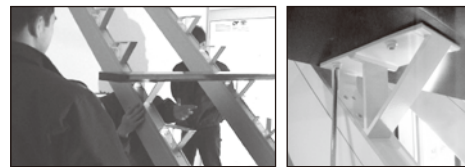
① 上部・下部取付板の固定



② 本体桁の取り付け



③ 踏板の取り付け



④ 階段手摺の柱の取り付け



⑤ パネルの取り付け



⑥ 笠木の取り付け



⑦ 養生



ご注意

踏板の養生は同梱のミラマツの上に段ボールを敷き、動かないようしっかり固定してください。段ボールのみで養生すると傷が入るおそれがあります。またその際に、踏板木口にテープなどの粘着物が接触しないようにしてください。

完成

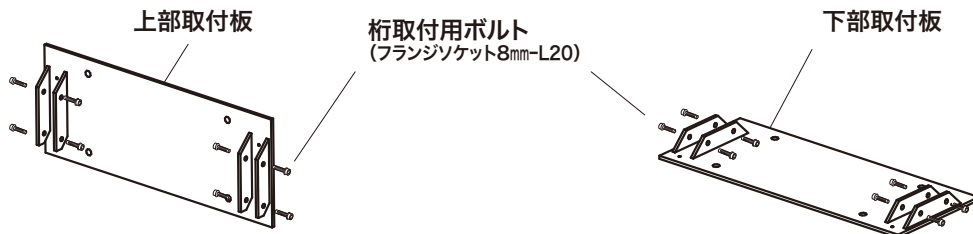
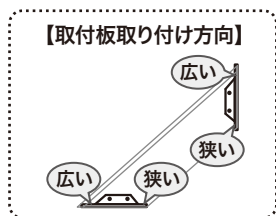


取付方法

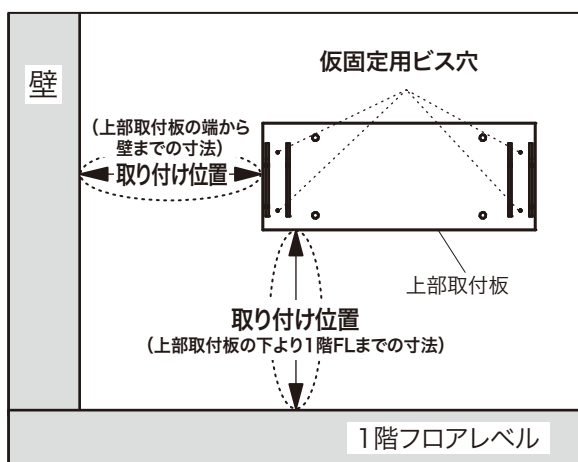
① 上部・下部取付板への仮固定

取り付けてある桁取付用ボルトを先に外してください。

◎取り外したボルトは紛失しないようにご注意ください。



◎上部取付板 <仮固定>



部品箱の中から組立図を取りだして、組立図より上部取付板の位置出しを行なってください。

▼
仮固定用ビス(木ビス3.8mm-L32)にて上部取付板を仮固定してください。

▼
上部取付板が水平であることを確認してください。

▼
まだ本固定は行なわないでください。(本固定は③で行ないます)。

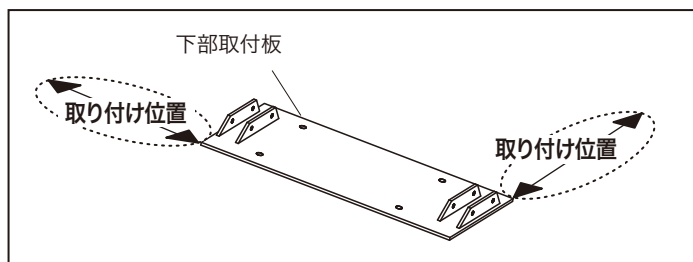


注意

取り付け作業は二人以上で行なってください。

◎下部取付板 <仮置き>

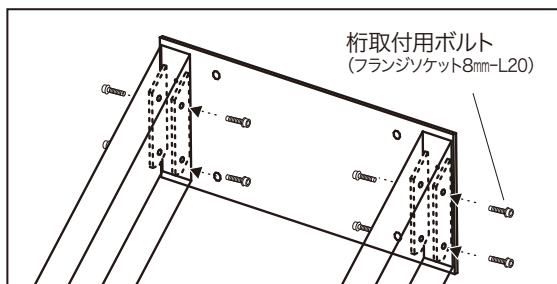
※ビス固定はまだ行なわないでください。



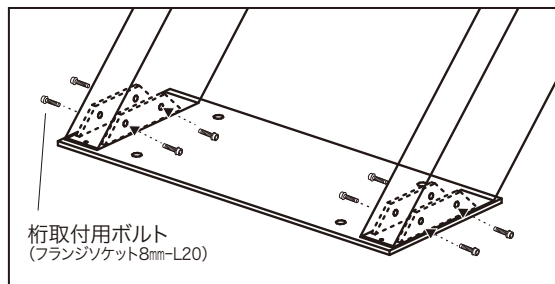
組立図より下部取付板の位置確認をし、前後を指示通りにして仮置きをしてください。(本固定は③で行ないます。)

② 本体桁の取り付け <仮固定>

※桁は壁側から取り付けてください。



本体桁を持ち上げ、取り外しておいた桁取付用ボルト(フランジソケット8mm-L20)にて上部取付板に本体桁の仮固定をしてください。



上部取付板に本体桁を仮固定した後、仮設置している下部取付板に、本体桁を桁取付用ボルト(フランジソケット8mm-L20)にて仮固定してください。



警告

本体桁を取り付けるときは踏板受けを持たないでください。手を切るおそれがあります。桁の本体に手を添えてください。



注意

本体桁を取付板に取り付ける場合、仕上げフロア、壁面等を傷つけないようご注意ください。



③ 上部・下部取付板及び本体桁の本固定

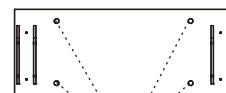
- 1 本体桁を仮固定している**桁取付用ボルト(フランジソケット8mm-L20)**を上部8本、下部8本、確実に固定してください。
- 2 組立図に基づき水平器を使用し水平及び垂直を出し、最上部の蹴上高、壁の納まりを確認後、上部取付板は下穴(6~7mm)をドリルΦ6~7を使用して空け、部品箱の**コーチボルト10mm-L75(上部取付板)**を使用して本固定してください。
下部取付板は下穴(4mm)をドリルΦ4を使用して空け、**皿タッピングビス6mm-L40(下部取付板)**を使用して本固定してください。



警告

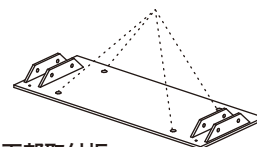
取付ボルト、ビスが確実に固定されているか再度ご確認ください。
固定が不十分の場合、階段が外れる可能性があります。

上部取付板



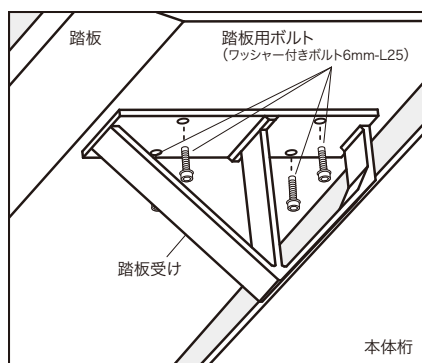
コーチボルト10mm-L75

皿タッピングビス6mm-L40



下部取付板

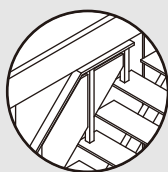
④ 踏板の取り付け



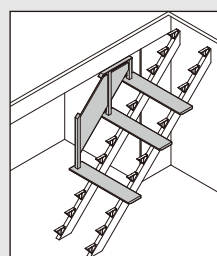
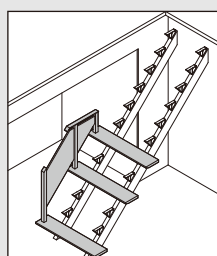
- 1 部品箱の**踏板用ボルト(ワッシャー付きボルト6mm-L25)**を使用し、踏板受けに踏板を仮固定してください。
- 2 踏板のズレがないか確認してください。
- 3 踏板の位置確認を糸糸等を使用して行なってください。
- 4 踏板を本固定してください。

ご注意

下がり天井でパネルが上から入らない場合。



下の段で子柱、パネルを組み、**踏板ごと**上の段に移動してください。



階段手摺の取り付け

各手摺ページをご参照ください。

フレームタイプ 27

バータイプ

ショートフレームタイプ

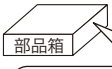
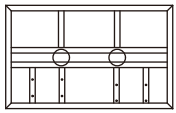
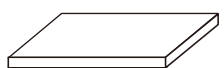
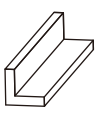
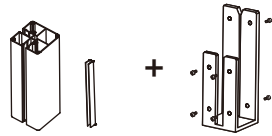
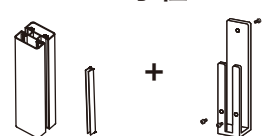
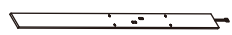
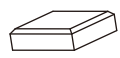
ポイントタイプ



部品表

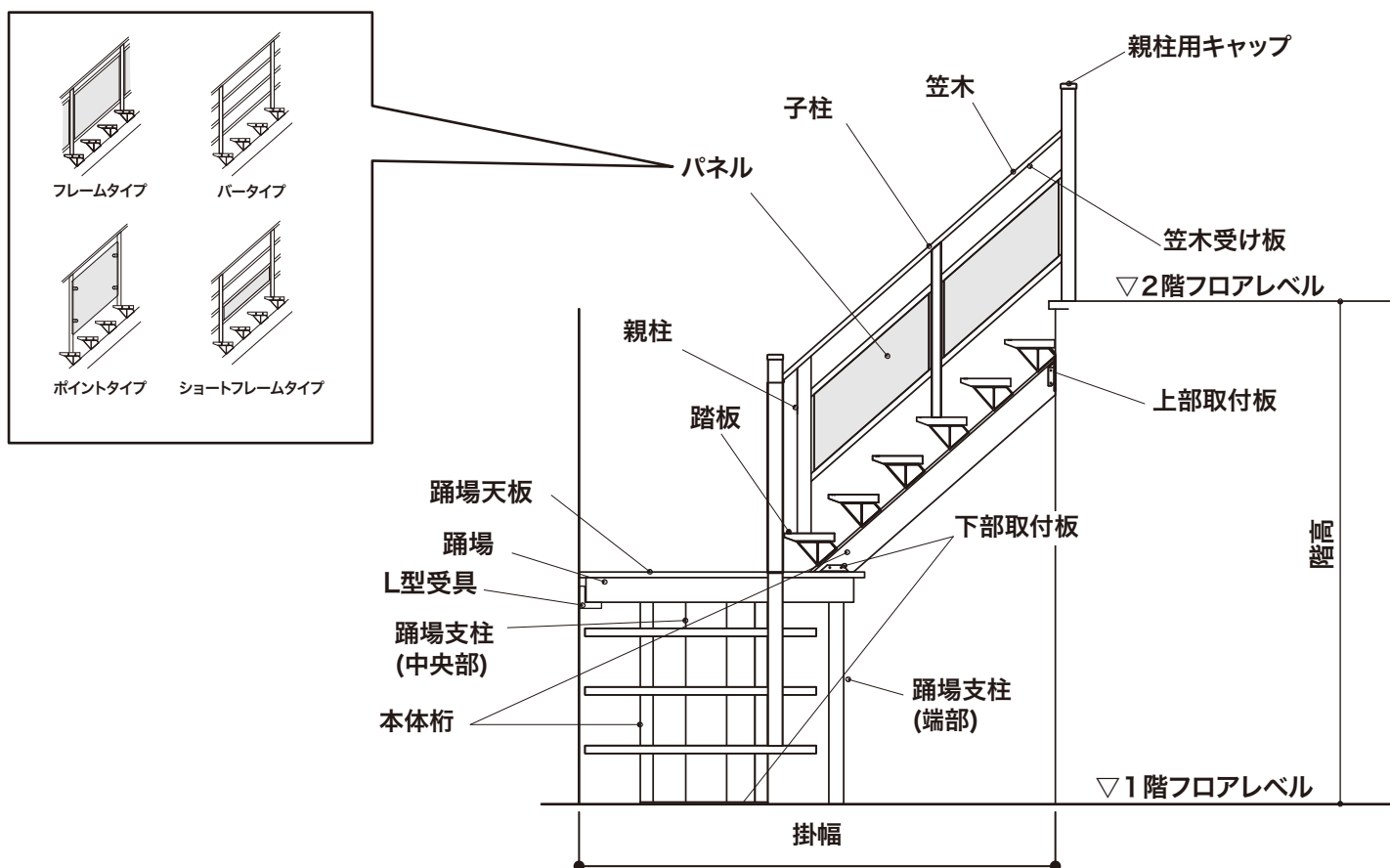


製品には万全を期しておりますが、開梱時には部品箱に同梱されている「部品明細書」を参考に部品点数をお確かめください。

部品箱  部品箱 ・施工説明書 ・部品明細書 ・設置図面(組立図) ・各部品	踊場  踊場天板  踊場支柱 (中央部Φ150)  踊場支柱 (端部Φ80)  L型受具 	踏板  親柱  柱本体・手摺ガイド + 柱サポート・ソケット 子柱  柱本体・手摺ガイド + 柱サポート・ソケット	笠木受け板  笠木  紙ヤスリ 塗料 ※ パネル フレームタイプ  ポイントタイプ  親柱用キャップ 
---	--	--	---

※塗料が分離している場合がありますが、使用上問題はありません。使用前によく混ぜてから塗布してください。

各部の名称



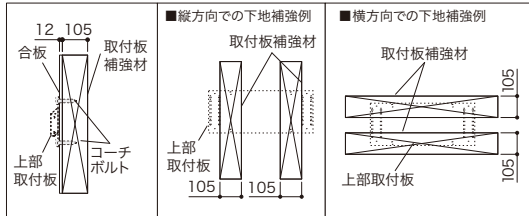


施工上のご注意

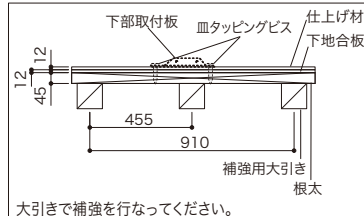
下地補強

上部取付板・下部取付板の取り付け前に位置確認を行ない、取り付け位置に補強がない場合は必ず補強後施工してください。

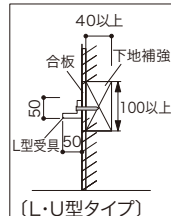
◎上部取付板の補強例



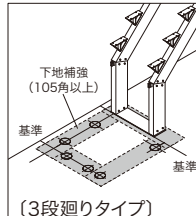
◎下部取付板の補強例



◎L型受具の補強例



◎支柱受けの補強例



【上部取付板】

- 取付板用のボルト固定位置の補強は105角以上の木材を必ずご使用ください。
- 取付板下地には必ず合板をご使用ください。
(石膏ボード下地は不可。階段が外れるおそれがあります。)

【下部取付板】

- 下部取付板は1階フロア上に取り付けてください。
- 取付板の下には、必ず補強用の大引きを施工してください。
- 取付板設置面は、下地合板と仕上げ材で24mm以上の厚みが必要です。

単位:mm

その他の施工に関する注意事項

- 指定してあるボルト止め・ビス止め箇所は確実に実施してください。●ボルト止め・ビス止めの際、製品に傷がつかないように注意してください。
- 本体桁・踏板の垂直度を正確に出して施工してください。

■施工時の製品取り扱いに関する注意事項

- 階段本体を故意に揺すったり、過度な衝撃を与えないでください。ボルトのゆるみやきしみの原因となり、破損につながるおそれがあります。
- 踏板・踊場の上部に物を置かないでください。階段の昇降の妨げになり、落下すると危険です。
- 手摺にぶら下がったり、手摺の上にのぼったりしないでください。
- 踏板上下の間や、手摺と踏板の間から手足や顔等を出さないようにしてください。ケガの原因となるおそれがあります。
- 製品の特性上多少の揺れが生じますが、強度に影響するものではありません。ご了解のうえ、設置願います。
- 汚れた場合のお手入れは、固く絞った雑巾で水拭きするのみでかまいません。落ちにくい汚れの場合は、中性洗剤を使って拭き取ってください。
- パネル部分は水で200倍程度に薄めた中性洗剤を浸した柔らかい布を絞り、軽く拭き取ってください。
- 踏板は木質ですが、ワックスをかけると滑りやすくなり、転倒のおそれがありますので、ワックスのご使用はお避けください。
- シンナー・ベンジン等のご使用はお避けください。製品表面が変色するおそれがあります。

施工の手順

施工前の準備

階段部品の種類・品数の確認

▶ 階段設置図(組立図)と現場寸法の再確認

施工

①踊場の取り付け



L型受具の取り付け



取付板・サポートの取り付け



支柱の位置出し



踊場組立

②上側階段の取り付け



上部取付板仮固定



下部取付板仮置き・本体桁取り付け



上下取付板本固定



踏板取り付け

③下側階段の取り付け



下部取付板仮置き・本体桁取り付け



上下取付板本固定



踏板取り付け

④階段手摺・笠木の取り付け



柱の固定

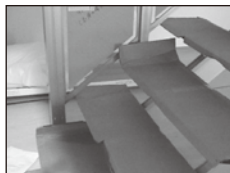


パネルの取り付け



笠木の取り付け

⑤養生



注意

踏板の養生は同梱のミラマットの上に段ボールを敷き、動かないようしっかり固定してください。段ボールのみで養生すると傷が入るおそれがあります。またその際に、踏板木口にテープなどの粘着物が接触しないようにしてください。

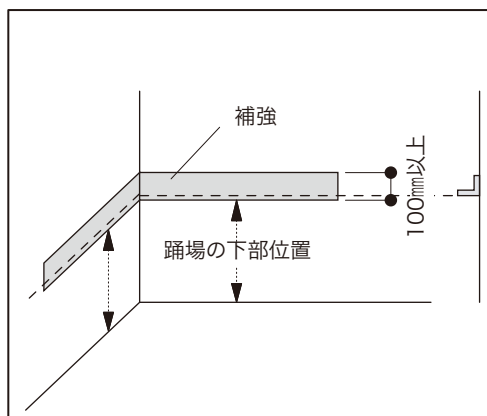
完成



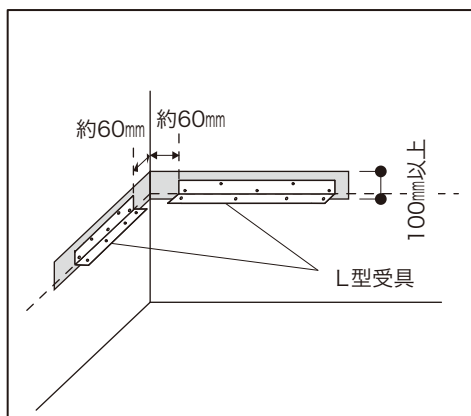
取付方法

踊場の取り付け

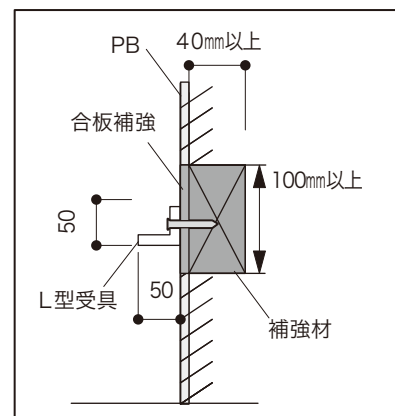
① 踊場固定用L型受具の取り付け



1 配置図に基づき、踊場の下部位置を水平器を使用し位置出ししてください。



2 踊場下部位置に沿って階段踊場受けのL型受具を同梱のビス(木ビス4.3mm-L65)で壁面に固定してください。

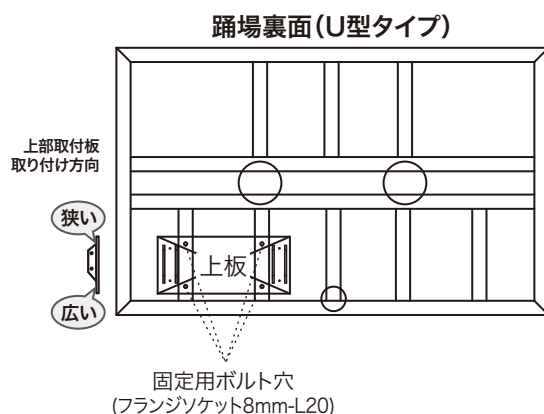
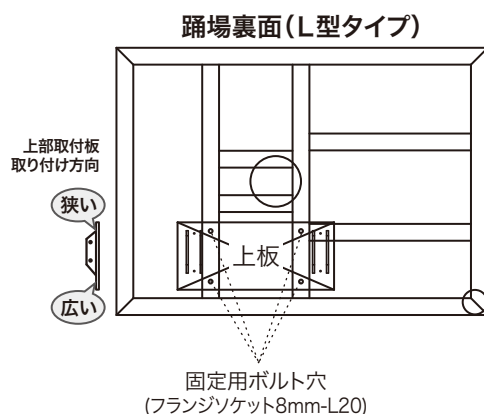
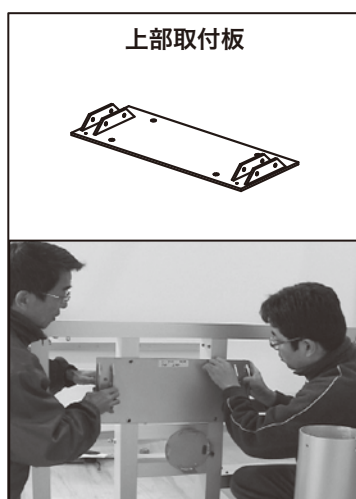


⚠ 注意

踊場下部位置から上側に100mm以上の下地合板及び補強(40mm厚以上)が入っていることを確認してください。
下地合板及び補強が無い場合、踊場の取り付けは出来ません。

② 下側階段用上部取付板の踊場への取り付け

1 段目～踊場までの階段



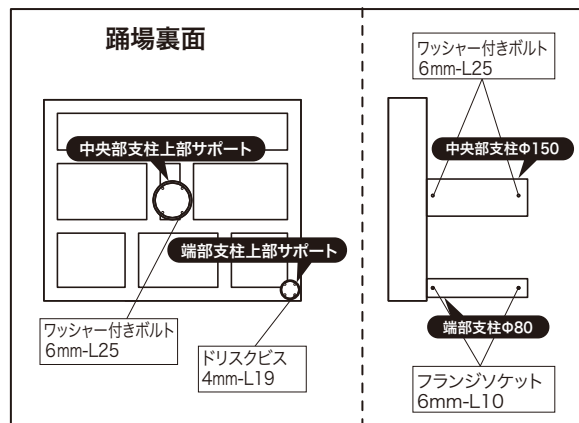
踊場の裏面に下側階段の上部取付板を同梱の専用ボルト(フランジソケット8mm-L20)にて仮固定してください。
取付板は踊場と平行に取り付けてください。

⚠ 注意

踊場下部位置から上側に100mm以上の下地合板及び補強(40mm厚以上)が入っていることを確認してください。
下地合板及び補強が無い場合、踊場の取り付けは出来ません。

**③ 踊場の取り付け準備**

1 踊場支柱に取り付けてある**フランジソケット(Φ80・6mm-L10)**、**ワッシャー付きボルト(Φ150・6mm-L25)**を取り外して支柱サポート上下を取り外してください。



2 組立図に基づき支柱サポートを踊場の裏側に固定します。

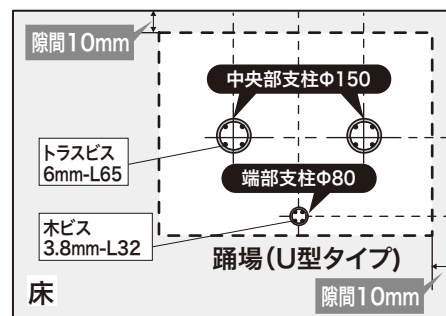
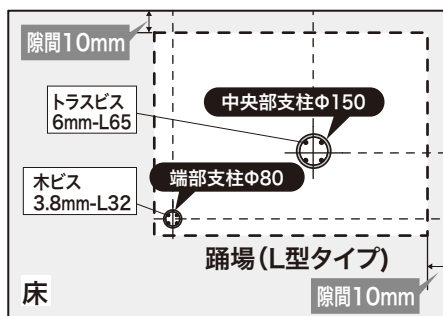
中央部支柱Φ150の支柱上部サポートは踊場に固定用ボルト(**ワッシャー付きボルト6mm-L25**)にて本固定してください。

端部支柱Φ80の支柱上部サポートは踊場に取付用ボルト(**ドリスクビス4mm-L19**)にて本固定してください。

その時、踊場と支柱サポート穴に付けてください。



3 支柱本体を支柱サポートに取り外しておいた**フランジソケット(Φ80・6mm-L10)**、**ワッシャー付きボルト(Φ150・6mm-L25)**にて仮固定してください。

④ 踊場の取り付け

1 組立図に基づき床側の階段踊場支柱取付けの位置出しをしてください。

2 組み上がった踊場を仮置きし、踊場と壁面との隙間を約10mm空けてください。
支柱の垂直を出し、ビス位置、柱の位置出しをしてください。

3 踊場を一旦外してから、支柱下部サポートを固定してください。

踊場を戻し、**中央部支柱Φ150**の支柱下部サポートビス(**トラスビス6mm-L65**)にて固定してください。(※刃先+3ビットを使用してください。)

端部支柱Φ80の支柱下部サポートはビス(**ホビス3.8mm-L32**)にて固定してください。

4 踊場のL型受具及び支柱下部サポートへの支柱を本固定してください。

踊場とL型受具への本固定は(**ドリスク4mm-L19**)にて行なってください。

仮固定している支柱本体と支柱サポートを**フランジソケット(Φ80・6mm-L10)**、**ワッシャー付きボルト(Φ150・6mm-L25)**にて確実に本固定してください。



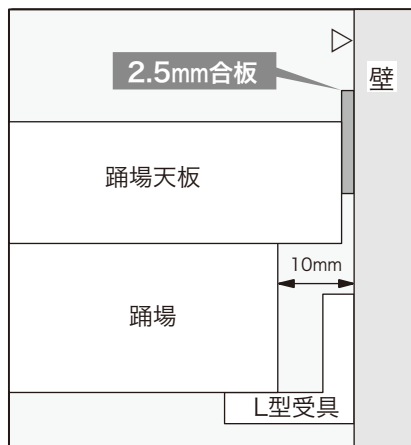
ソケット部の位置出しも行ってください。

**ご注意**

踊場と壁との隙間が10mmであり、階段踊場がL型受具の上にきちんと載っているか確認してください。

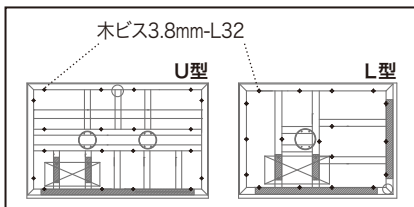


⑤ 踊場天板の取り付け



1 踊場の上に踊場天板を乗せ、壁との間に2.5mm合板等を挟み **2.5mmのクリアランス**をとってください。

2 踊場天板の位置を確認後、踊場裏面から同梱のビス(木ビス **3.8mm-L32**)にて天板を固定してください。



ご注意

壁とのクリアランスを取らないと、昇降時にきしみ音が出る
ことがあります。

3 支柱上部サポートの固定用ボルト(ワッシャー付きボルト6mm-L25)、ドリスビス4mm-L19をそれぞれ本固定してください。

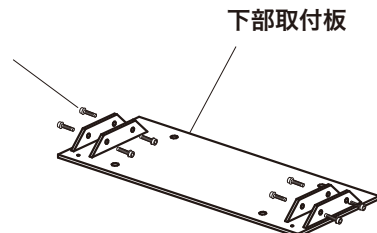
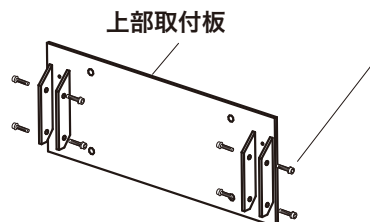
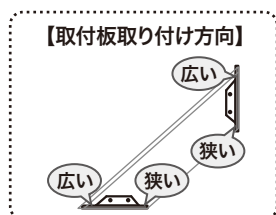
上側階段の取り付け

< 踊場～最上段までの階段 >

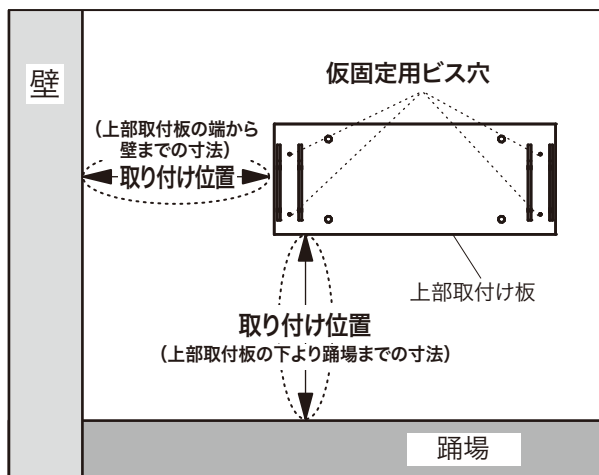
① 上部・下部取付板への仮固定

取り付けてある桁取付用ボルトを先に外してください。

◎取り外したボルトは紛失しないようご注意ください。



◎上部取付板 <仮固定>



部品箱の中から組立図を取りだして、
組立図より上部取付板の位置出しを行ってください。

▼
仮固定用ビス(木ビス3.8mm-L32)にて上部取付板を仮固定してください。

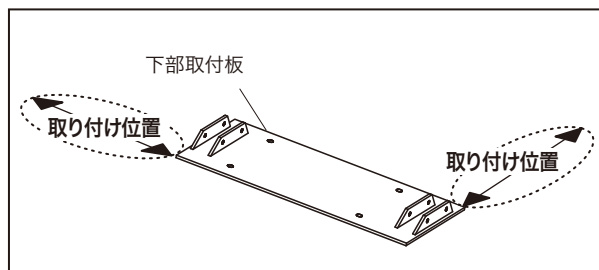
▼
上部取付板が水平であることを確認してください。

▼
まだ本固定は行なわないでください。(本固定は③で行ないます)。

⚠ 注意

取り付け作業は二人以上で行なってください。

◎下部取付板 <仮置き>

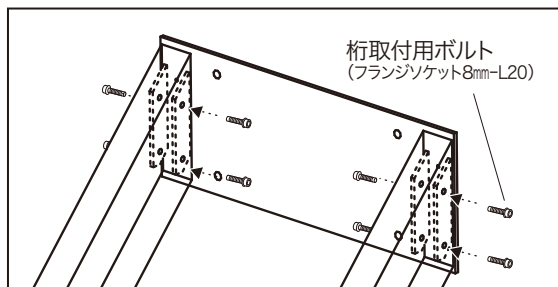


組立図より下部取付板の位置確認をし、前後を指示通りにして仮置きをしてください。(本固定は③で行ないます)。

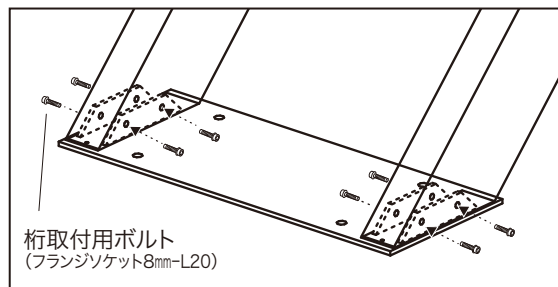
※ビス固定はまだ行なわないでください。

**② 本体桁の取り付け <仮固定>**

◎ 桁は壁側から取り付けてください。



本体桁を持ち上げ、取り外しておいた**桁取付用ボルト(フランジソケット8mm-L20)**にて上部取付板に本体桁の仮固定をしてください。



上部取付板に本体桁を仮固定した後、仮設置している下部取付板に、本体桁を**桁取付用ボルト(フランジソケット8mm-L20)**にて仮固定してください。

⚠ 警告

本体桁を取り付けるときは踏板受けを持たないでください。手を切るおそれがあります。桁の本体に手を添えてください。

**📌 注意**

本体桁を取付板に取り付ける場合、仕上げフロア、壁面等を傷つけないようご注意ください。

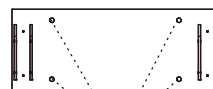
③ 上部・下部取付板及び本体桁の本固定

1 本体桁を仮固定している**桁取付用ボルト(フランジソケット8mm-L20)**を上部8本、下部8本、確実に固定してください。

2 組立図に基づき水平器を使用し水平及び垂直を出し、最上部の蹴上高、壁の納まりを確認後、上部取付板は下穴(6~7mm)をドリルφ6~7を使用して空け、部品箱の**コーチボルト10mm-75(上部取付板)**を使用して本固定してください。

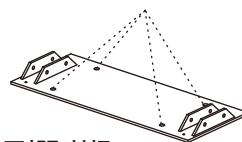
下部取付板は下穴(4mm)をドリルφ4を使用して空け、**皿タッピングビス6mm-L40(下部取付板)**を使用して本固定してください。

上部取付板



コーチボルト10mmL-75

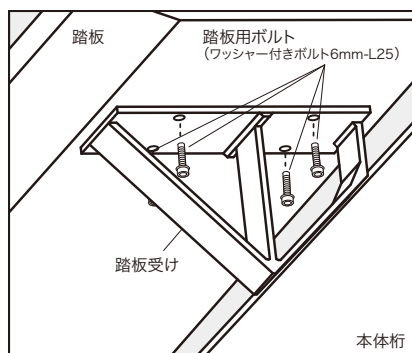
皿タッピングビス6mmL-40



下部取付板

⚠ 警告

取付用ボルト、ビスが確実に固定されているか再度ご確認ください。固定が不十分の場合、階段が外れる可能性があります。

④ 踏板の取り付け

1 部品箱の**踏板用ボルト(ワッシャー付きボルト6mm-L25)**を使用し、踏板受けに踏板を仮固定してください。

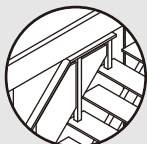
2 踏板のズレがないか確認してください。

3 踏板の位置確認を水糸等を使用して行なってください。

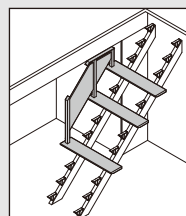
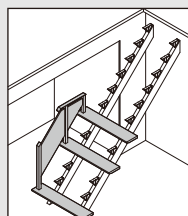
4 踏板を本固定してください。

📌 注意

下がり天井でパネルが上から入らない場合。



下の段で子柱、パネルを組み、**踏板ごと**上の段に移動してください。





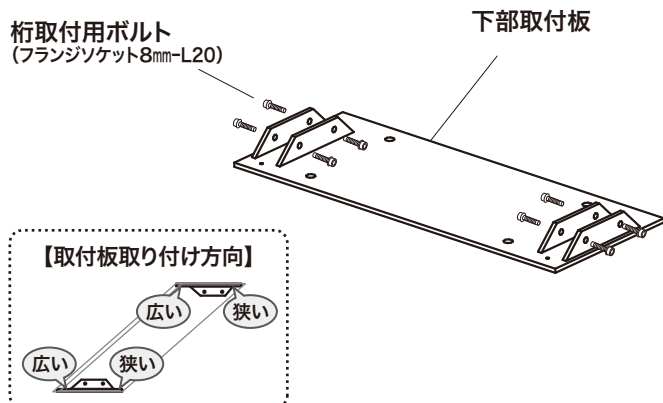
下側階段の取り付け

< 1 段目～踊場までの階段 >

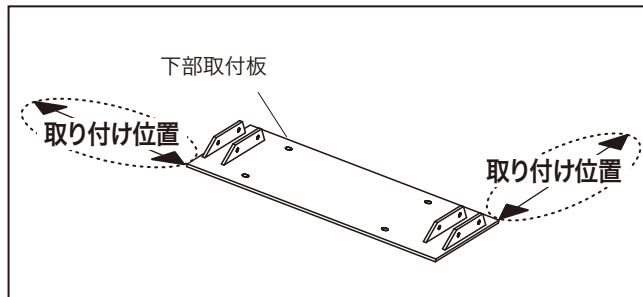
① 上部・下部取付板への仮固定

取り付けてある桁取付用ボルトを先に外してください。

◎取り外したボルトは紛失しないようにご注意ください。



◎下部取付板 <仮置き>

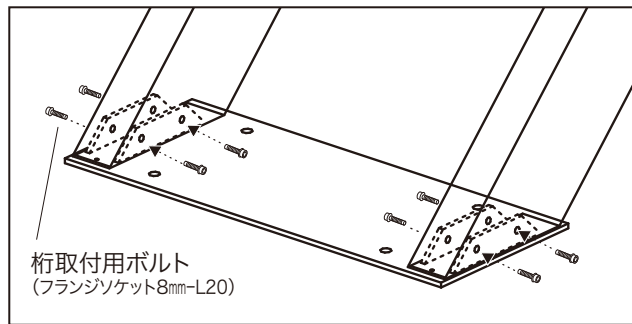
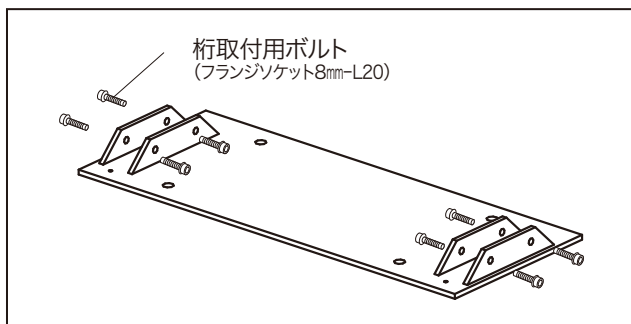


組立図より下部取付板の位置確認をし、仮置きをしてください。(本固定は③で行ないます。)

※ビス固定はまだ行なわないでください。

② 本体桁の取り付け <仮固定>

◎桁は壁側から取り付けてください。



本体桁を持ち上げ、取り外しておいた**桁取付用ボルト (フランジソケット8mm-L20)**にて上部取付板に本体桁の仮固定をしてください。

上部取付板に本体桁を仮固定した後、仮設置している下部取付板に、本体桁を**桁取付用ボルト (フランジソケット8mm-L20)**にて仮固定してください。

⚠ 警告

本体桁を取り付けるときは踏板受けを持たないでください。手を切るおそれがあります。桁の本体に手を添えてください。



⚠ 注意

本体桁を取付板に取り付ける場合、仕上げフロア、壁面等を傷つけないようご注意ください。



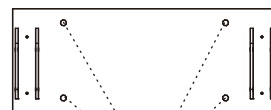
③ 上部・下部取付板及び本体桁の本固定

1 組立図に基づき水平器を使用し水平及び垂直を出し、最上部の蹴上高、壁の納まりを確認後、下部取付板は下穴(4mm)をドリルΦ4を使用して空け、**皿タッピングビス6mm-L40(下部取付板)**を使用し、下部取付板を本固定してください。上部取付板のフランジソケットも本固定してください。

2 本体桁を仮固定している**桁取付用ボルト(フランジソケット8mm-L20)**を上部8本、下部8本、確実に固定してください。

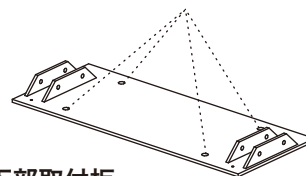


上部取付板



フランジソケット8mmL-20

皿タッピングビス6mmL-40



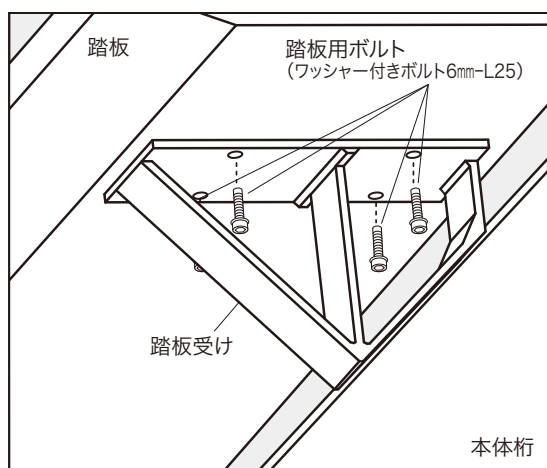
下部取付板



警告

取付用ボルト、ビスが確実に固定されているか再度ご確認ください。
固定が不十分の場合、階段が外れる可能性があります。

④ 踏板の取り付け



1 部品箱の**踏板用ボルト(ワッシャー付きボルト6mm-L25)**を使用し、踏板受けに踏板を仮固定してください。

2 踏板のズレがないか確認してください。

3 踏板の位置確認を水糸等を使用して行なってください。

4 踏板を本固定してください。

階段手摺の取り付け

各手摺ページをご参照ください。

フレームタイプ 27

バータイプ

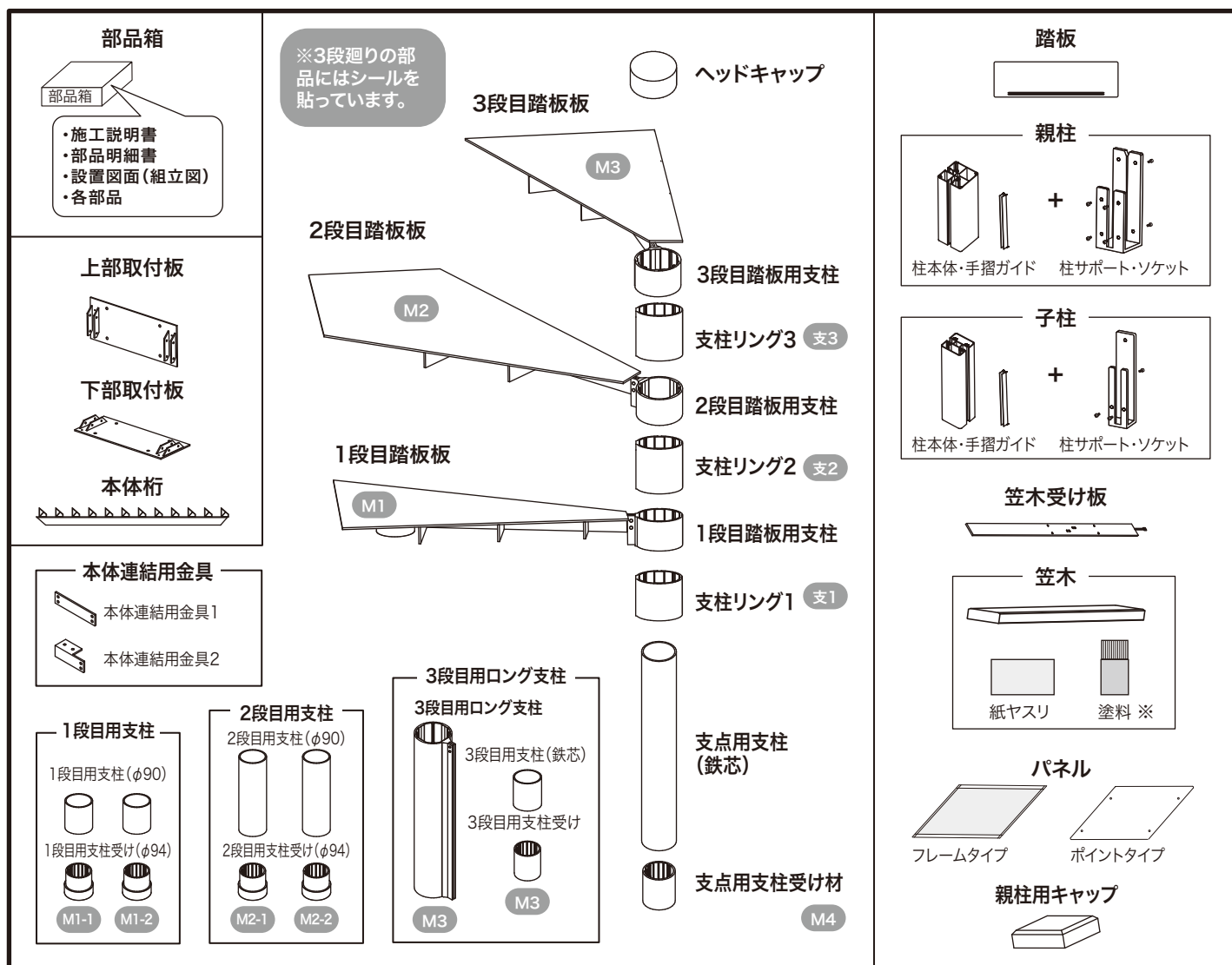
ショートフレームタイプ

ポイントタイプ

部品表

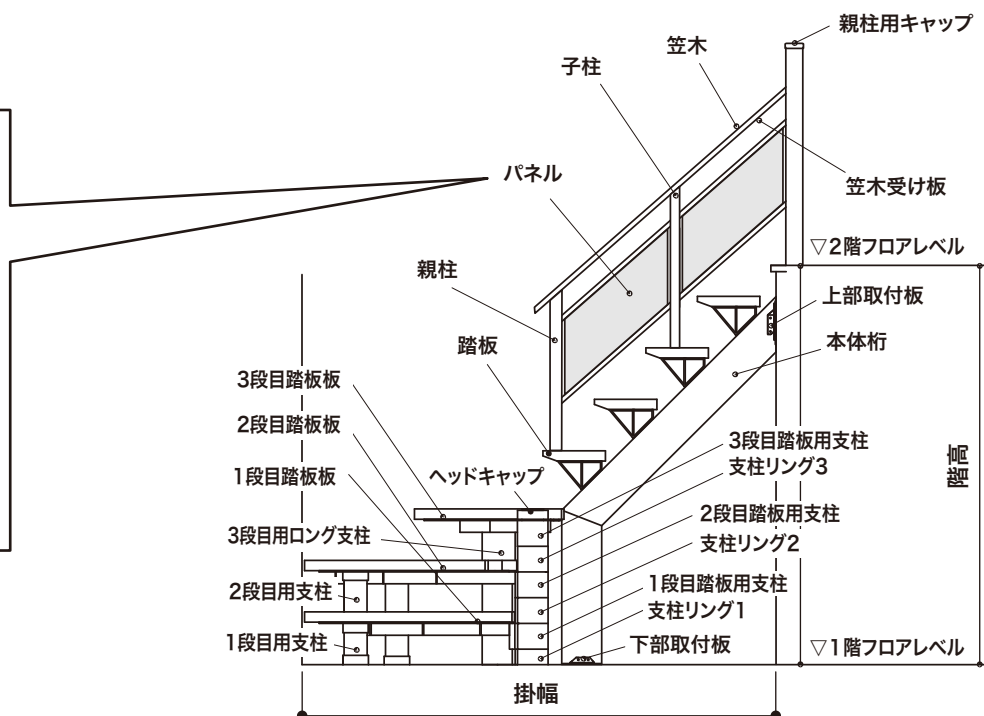
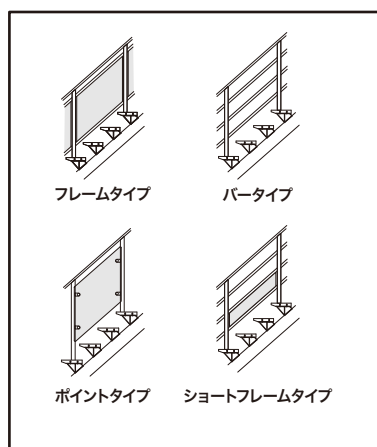


製品には万全を期しておりますが、開梱時には部品箱に同梱されている「部品明細書」を参考に部品点数をお確かめください。



※塗料が分離している場合がありますが、使用上問題はありません。使用前によく混ぜてから塗布してください。

各部の名称





3段廻りタイプ

20

施工上のご注意



屋外使用禁止

本製品は「内装専用」です。屋外には使用できません。



躯体精度

躯体の垂直度、床の水平度を正確に出して施工してください。



水・湿気禁止

屋内であっても直接水のかかる場所や湿度の高い場所には使用しないでください。



溶剤厳禁

水・油・インク・薬品等が付着しないようご注意ください。付着した場合はすぐに拭き取ってください。放置するとシミや変色の原因となります。



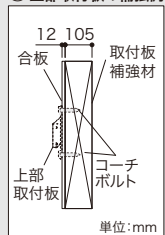
非常階段使用禁止

非常階段としての設置はできません。耐火建築物、準耐火建築物(30分耐火が必要な場合)に主要構造部の階段としては設置できません。

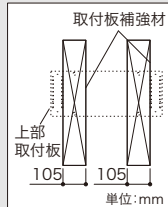
- 室内階段以外の転用、改造は行わないでください。●指定された部品以外は使用しないでください。
- 指定してある工具以外を使用しないでください。●指定してあるボルト止め、ビス止めは確実に実施してください。
- 本体桁、踏板の水平面を正確に出して施工してください。●ボルト止め、ビス止めの際、製品に傷がつかないように注意してください。
- 下部取付け板は1階フロアー上に取付けてください。

本製品の取付には下地補強が必要です。施工前に下地補強を再度ご確認ください。

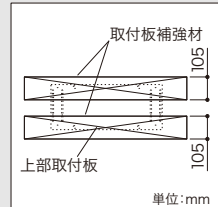
◎上部取付け板の補強例



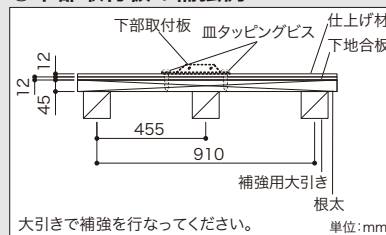
■縦方向での下地補強例



■横方向での下地補強例

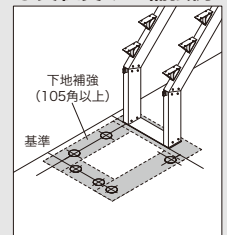


◎下部取付け板の補強例



【3段廻りタイプ】

◎支柱受けの補強例



⚠下地確認における注意

<上部取付け板>

- 取付け板用のボルト固定位置の補強は105mm角以上の木材を必ずご使用ください。
- 取付け板下地は必ず合板であること。(石膏ボード下地は不可。階段が外れるおそれがあります。)

<下部取付け板>

- 取付け板の下には、必ず補強用の大引きを施工のこと。
- 取付け板設置面は、下地合板と仕上げ材で24mm以上の厚みであること。

施工の手順

施工前の準備

階段部品の種類・品数の確認

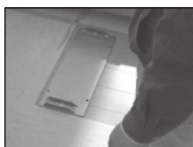
階段設置図(組立図)と現場寸法の再確認

施工

①本体桁の取り付け

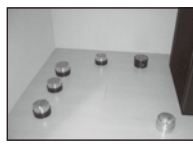


上部・下部取付け板の固定

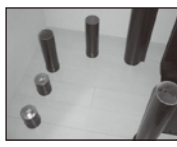


ストレート部桁の連結 本体桁の取り付け

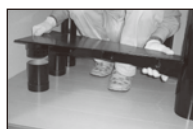
②3段廻部分の取り付け



支柱受材の取り付け



本体桁と連結



踏板板の取り付け 本固定



③踏板の取り付け



④階段手摺・笠木の取り付け



柱の固定

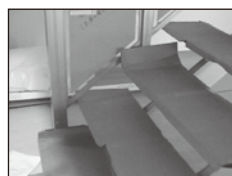


パネルの取り付け



笠木の取り付け

⑤養生



⚠注意

踏板の養生は同梱のミラマットの上に段ボールを敷き、動かないようしっかり固定してください。段ボールのみで養生すると傷が入るおそれがあります。またその際に、踏板木口にテープなどの粘着物が接触しないようにしてください。

完成

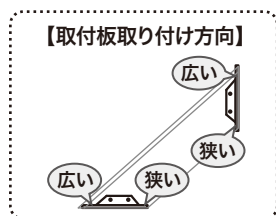


本体桁の取り付け

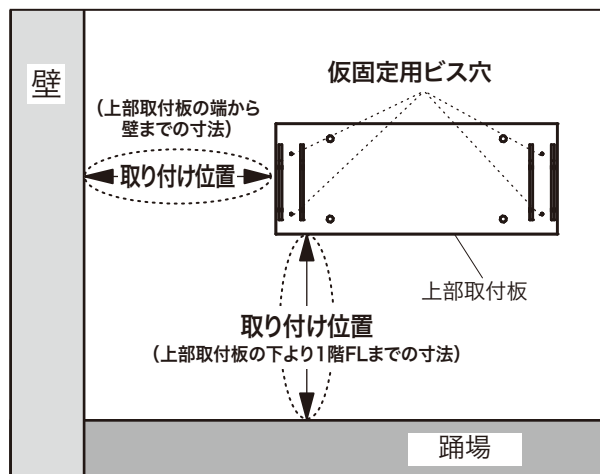
① 上部・下部取付板の仮固定

取り付けてある桁取付用ボルトを先に外してください。

◎取り外したボルトは紛失しないようにご注意ください。



◎上部取付板 <仮固定>



部品箱の中から組立図を取りだして、組立図より上部取付板の位置出しを行ってください。

▼
仮固定用ビス(木ビス3.8mm-L32)にて上部取付板を仮固定してください。

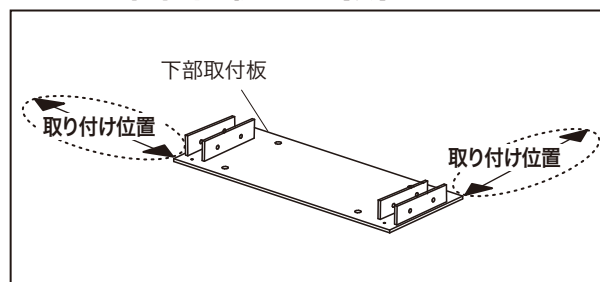
▼
上部取付板が水平であることを確認してください。

▼
まだ本固定は行なわないでください。(本固定は④で行ないます)。

⚠ 注意

取り付け作業は二人以上で行ってください。

◎下部取付板 <仮置き>

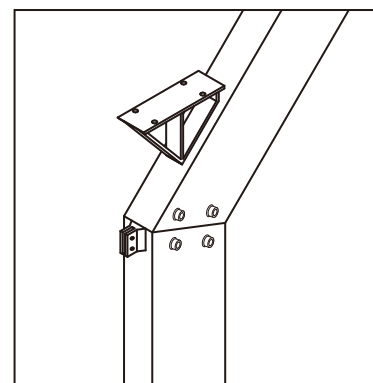
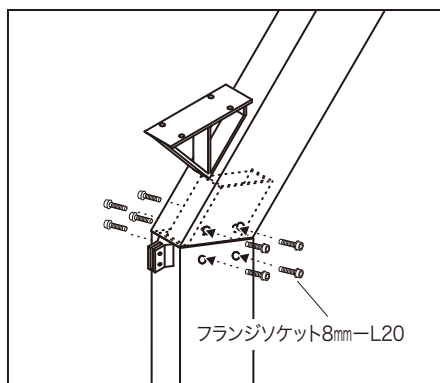
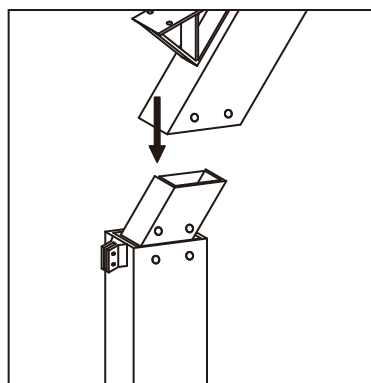


組立図より下部取付板の位置確認をし、前後を指示通りにして仮置きをしてください。(本固定は④で行ないます)。

※ビス固定はまだ行なわないでください。

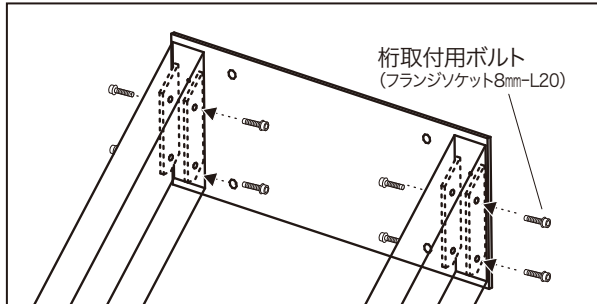
② 本体桁の取り付け<仮固定>

1 部品箱のフランジソケット8mm-L20にて桁を連結(本固定)し、1本の桁にしてください。

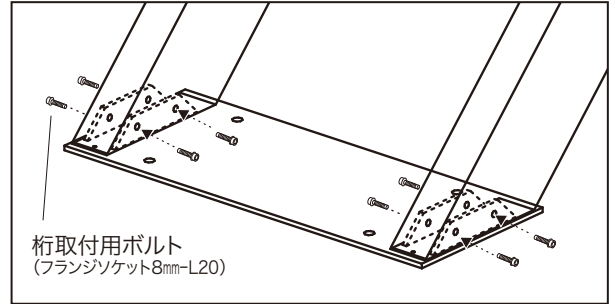


**③ 本体桁の取り付け <仮固定>**

◎桁は壁側から取り付けてください。



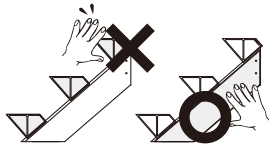
本体桁を持ち上げ、取り外しておいた**桁取付用ボルト (フランジソケット8mm-L20)**にて上部取付板に本体桁の仮固定をしてください。



上部取付板に本体桁を仮固定した後、仮設置している下部取付板に、本体桁を**桁取付用ボルト (フランジソケット8mm-L20)**にて仮固定してください。

⚠ 注意

本体桁を取り付けるときは踏板受けを持たないでください。手を切るおそれがあります。桁の本体に手を添えてください。

**⚠ 注意**

本体桁を取付板に取り付ける場合、仕上げフロア、壁面等を傷つけないようご注意ください。

④ 上部・下部取付板及び本体桁の本固定

1 本体桁を仮固定している**桁取付用ボルト (フランジソケット8mm-L20)**を上部8本、下部8本、確実に固定してください。

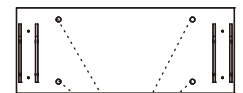
2 組立図に基づき水平器を使用し水平及び垂直を出し、最上部の蹴上高、壁の納まりを確認後、上部取付板は下穴(6~7mm)をドリルΦ6~7を使用して空け、部品箱の**コーチボルト 10mm-75 (上部取付板)**を使用して本固定してください。

下部取付板は下穴(4mm)をドリルΦ4を使用して空け、**皿タッピングビス6mm-L40 (下部取付板)**を使用して本固定してください。

⚠ 警告

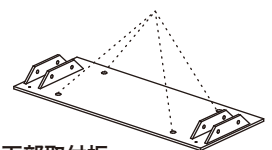
取付ボルト、ビスが確実に固定されているか再度ご確認ください。固定が不十分の場合、階段が外れる可能性があります。

上部取付板



コーチボルト10mmL-75

皿タッピングビス6mmL-40

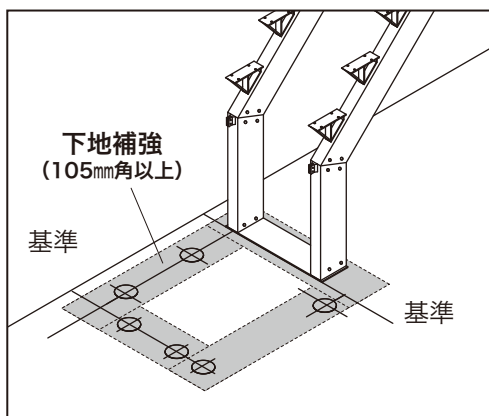


下部取付板



3段廻り部分の取り付け

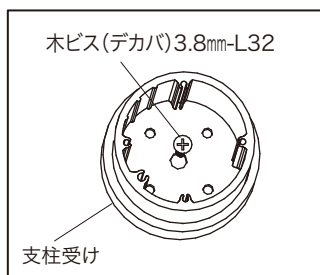
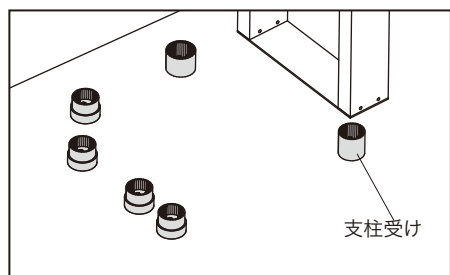
① 支柱の位置出し



階段桁、壁を基準に支柱の立つ位置を組立図(部品箱に同梱)を元に位置出しします。

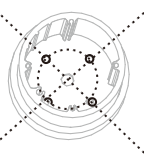
② 支柱受けの仮固定

位置出した位置に支柱受け(センター部分のみ)を部品箱の**木ビス(デカバ)3.8mm-L32**で仮固定してください。(本固定は⑧で行ないます)



ご注意

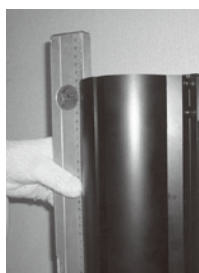
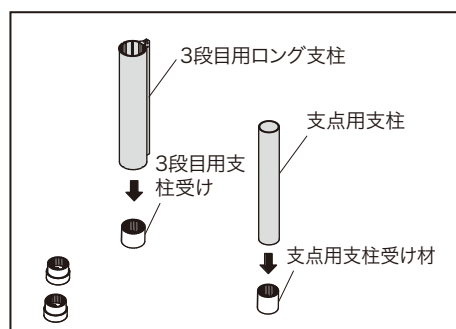
基準線



基準芯上に穴がくるように、支柱受けを設置してください。

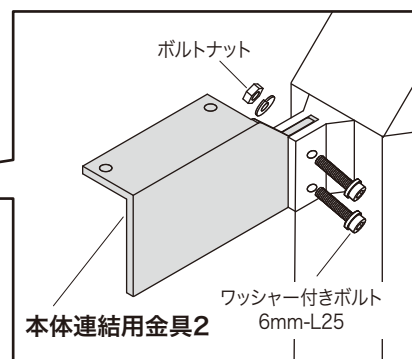
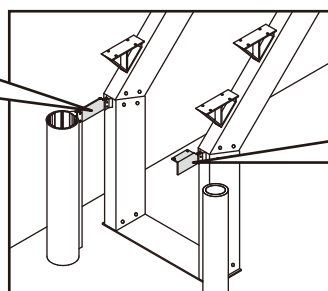
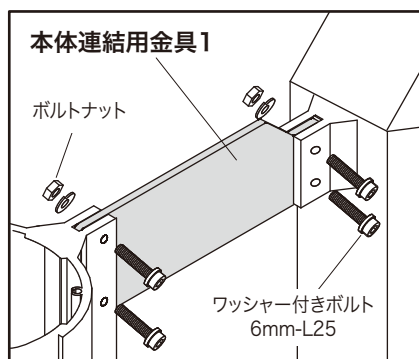
③ 支柱と本体桁の連結 <仮固定>

1 支柱受けに3段目の柱(**3段目用ロング支柱、3段目用支柱、支点用支柱**)を置き、水平器で水平、垂直を確認してください。



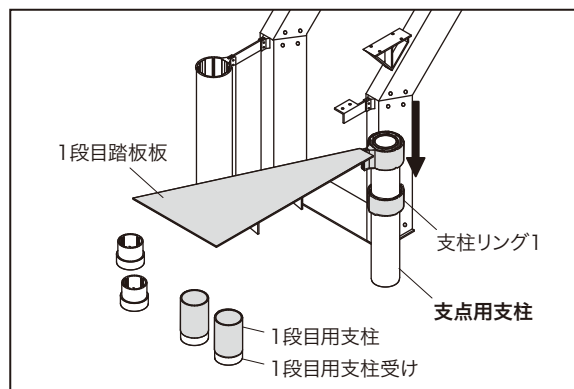
水平、垂直の確認を行なってください。

2 3段目用ロング支柱と本体桁に部品箱の**ワッシャー付きボルト6mm-L25**と**ボルトナット**で**本体連結用金具1**、**本体連結用金具2**を連結(仮固定)してください。(本固定は⑧で行ないます)

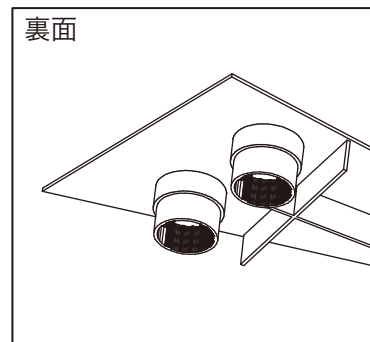
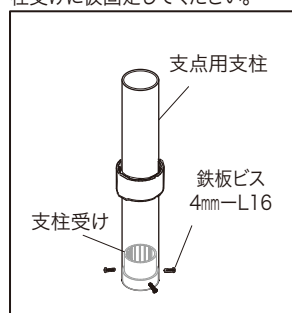


**④ 踏板板 1 段目 < 仮置 >**

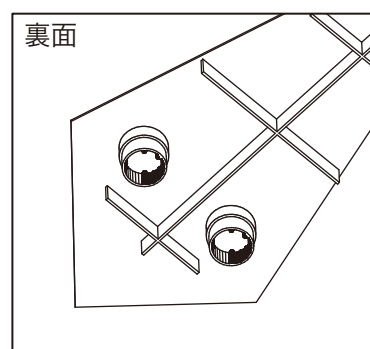
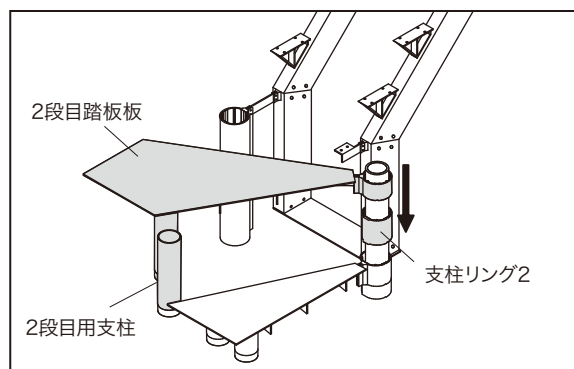
- 1 支柱受けに1段目用支柱を置いてください。
- 2 支柱リング1と1段目踏板板を支点用支柱に通し、1段目用支柱にはめ込んでください。
(支柱リング1と1段目踏板板の溝を合わせてください)
- 3 支点用支柱に取り付けてある**鉄板ビス4mm-L16**で仮固定してください。(本固定は⑧で行ないます)



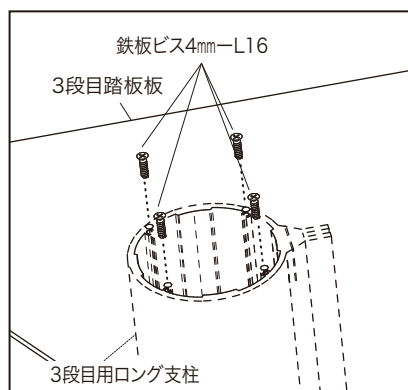
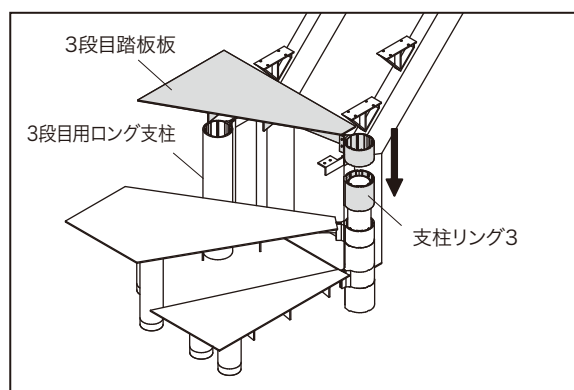
支点用支柱に取り付けてあるビス
(鉄板ビス4mm-L16)3ヶ所を支
柱受けに仮固定してください。

**⑤ 踏板板 2 段目 < 仮置 >**

- 1 支柱受けに2段目用支柱を置いてください。
- 2 支柱リング2と2段目踏板板を支点用支柱に通し、2段目用支柱にはめ込んでください。
(支柱リング2と2段目踏板板の溝を合わせてください)

**⑥ 踏板板 3 段目 < 仮置 >**

- 1 支柱リング3と3段目踏板板を支点用支柱に通し、3段目用ロング支柱に載せてください。
- 2 3段目踏板板と3段目用ロング支柱を**鉄板ビス4mm-L16**で仮固定してください。(本固定は⑧で行ないます)

**⑦ 水平・垂直の確認**

水平、垂直を確認してください。

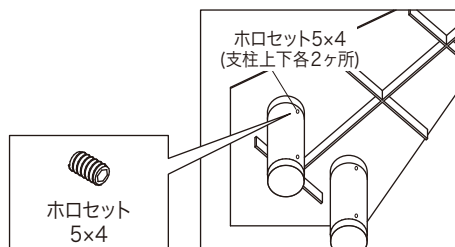


⑧ 支柱の本固定 <1～3段>

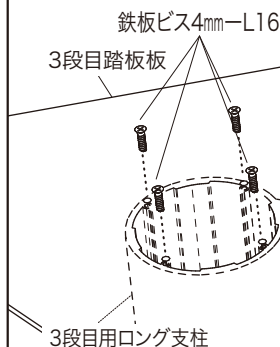
水平、垂直を確認して、よければ分解を行ない、〈②支柱受けの仮固定〉に戻り各工程の**本固定**を実施してください。

2段目

2段目用支柱に取り付けられている**ホロセット5×4**を本固定してください。(支柱上下各2ヶ所)



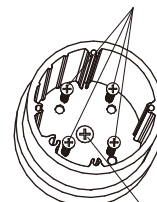
3段目



支柱受け(6ヶ所)

支柱受けを**タッピングビス 6mm-L40**と**木ビス(デカバ) 3.8mm-L32**で本固定してください。

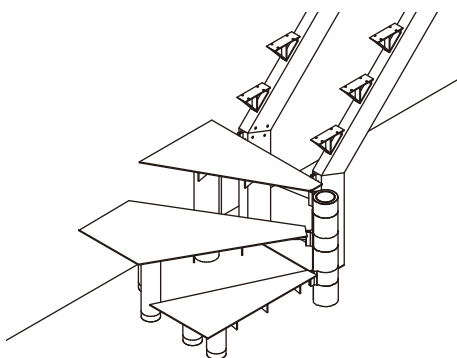
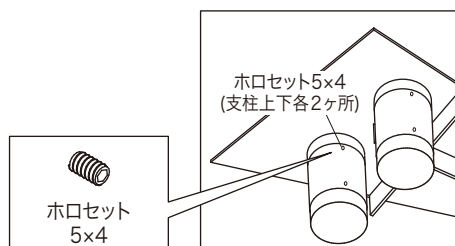
木ビス(デカバ)3.8mm-L32



タッピングビス6mm-L40

1段目

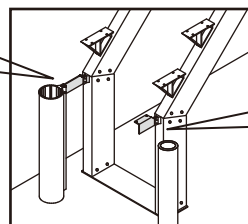
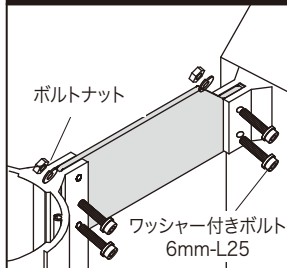
1段目用支柱に取り付けられている**ホロセット5×4**を本固定してください。(支柱上下各2ヶ所)



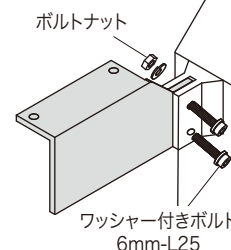
⚠ 警告

取付ボルト、ビスが確実に固定されているか再度ご確認ください。
固定が不充分の場合、階段が外れる可能性があります。

本体連結用金具1

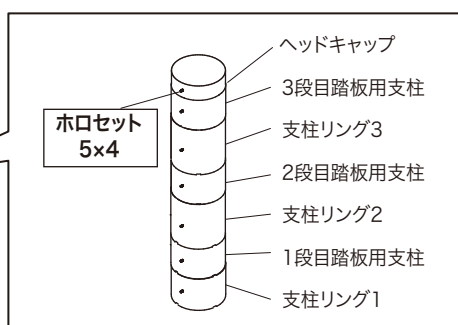
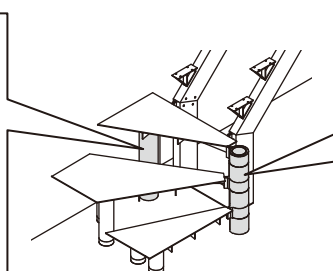
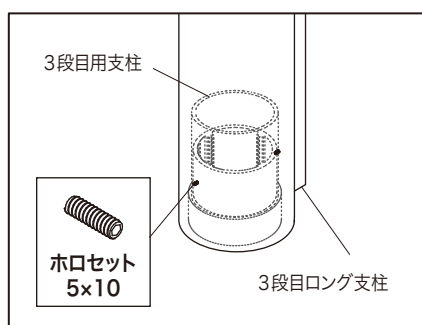


本体連結用金具2



⑨ 支柱の本固定 <3段目ロング支柱・支点用支柱>

- 1 3段目ロング支柱と3段目用支柱の**ホロセット5×10**を同梱の6角レンチ2.5mmで本固定してください。
- 2 支柱リング1～3、1～3段目踏板用支柱の**ホロセット5×4**を同梱の6角レンチ2.5mmで本固定してください。
- 3 ヘッドキャップを付け**ホロセット5×4**を同梱の6角レンチ2.5mmで本固定してください。



6角レンチ2.5mm
(同梱)

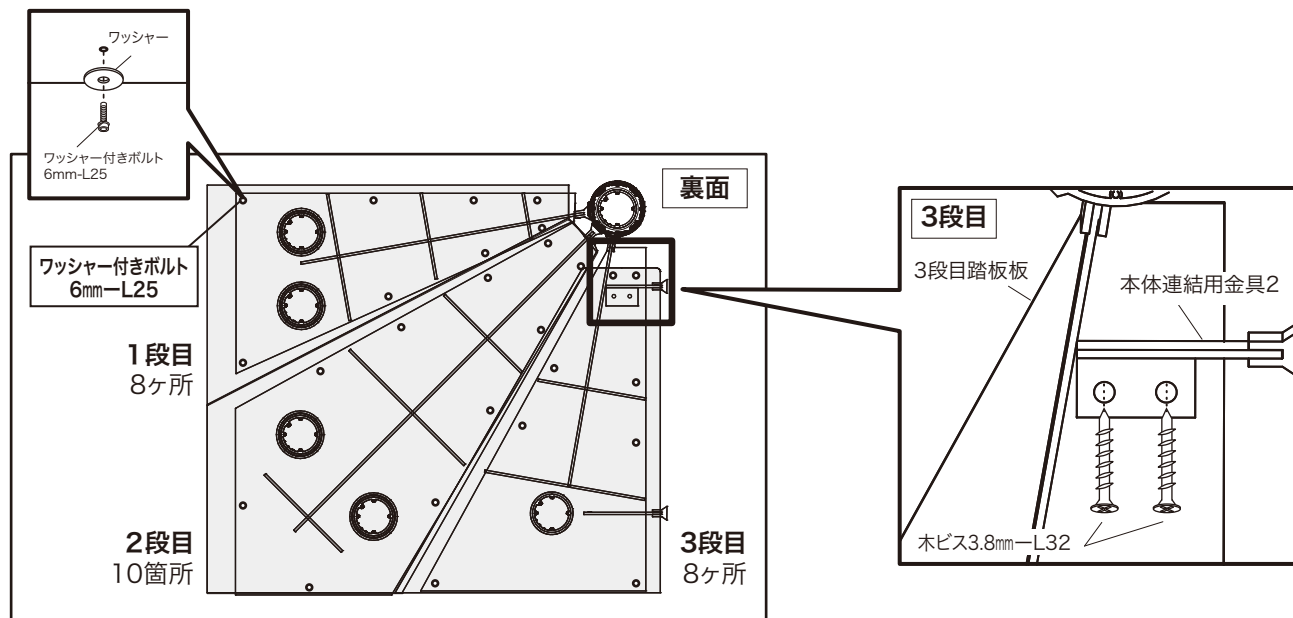


踏板の取り付け

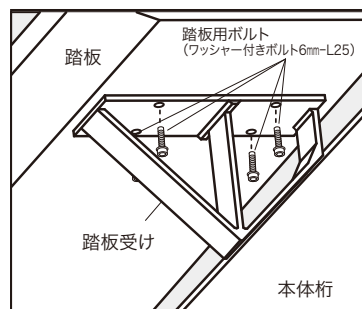
① 踏板の取り付け <1～3段>

1 踏板を載せ、裏側からワッシャー付きボルト6mm-L25とワッシャーで本固定してください。

2 3段目踏板板と桁を木ビス3.8mm-L32で本固定してください。



② 踏板の取り付け <4段～最上段>



1 部品箱の踏板用ボルト(ワッシャー付きボルト6mm-L25)を使用し、踏板受けに踏板を仮固定してください。

2 踏板のズレがないか確認してください。

3 踏板の位置確認を水糸等を使用して行なってください。

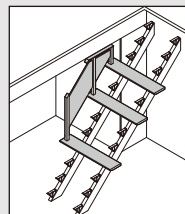
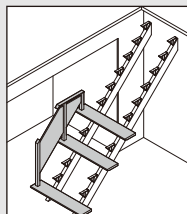
4 踏板を本固定してください。



下がり天井でパネルが上から入らない場合。



下の段で子柱、パネルを組み、踏板ごと上の段に移動してください。



階段手摺の取り付け

各手摺ページをご参照ください。

フレームタイプ 27

バータイプ

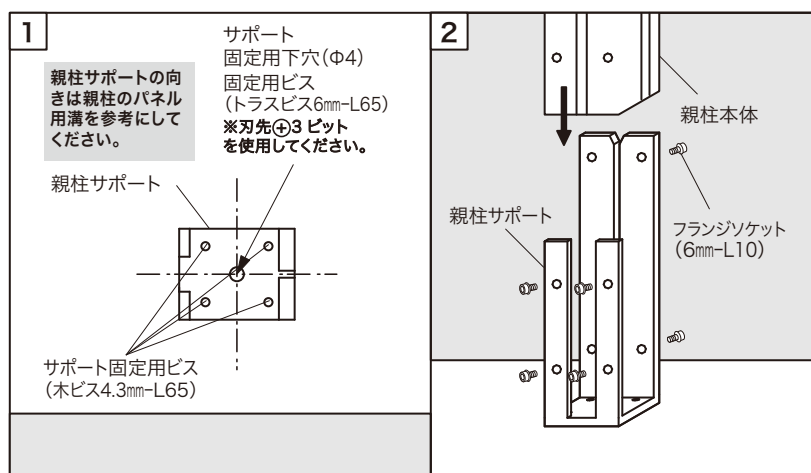
ショートフレームタイプ

ポイントタイプ

① 親柱（最上段）の取り付け

※上階用手摺の取り付け→32ページ「上階用アルミ手摺セット」参照

◎最上段の階段踏板に固定する場合は、親柱（最下段）の取り付け方と同じ要領で施工してください。



ご注意

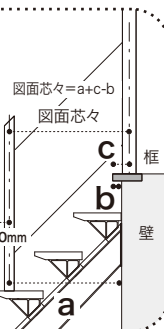
手摺と「上階用アルミ手摺セット」が連続している場合は、階段最上部につく柱の位置出しを最初に行ない、施工してください。

ご注意

上框の鼻の出が図面と違う場合は位置出し調整が必要です。そのまま施工するとパネルが入らなくなります。

図面

現場

※図面より
±30mm以内
に収まるように
調整してください。

1 最上段の親柱の位置を組立図に基づいて位置出しをします。

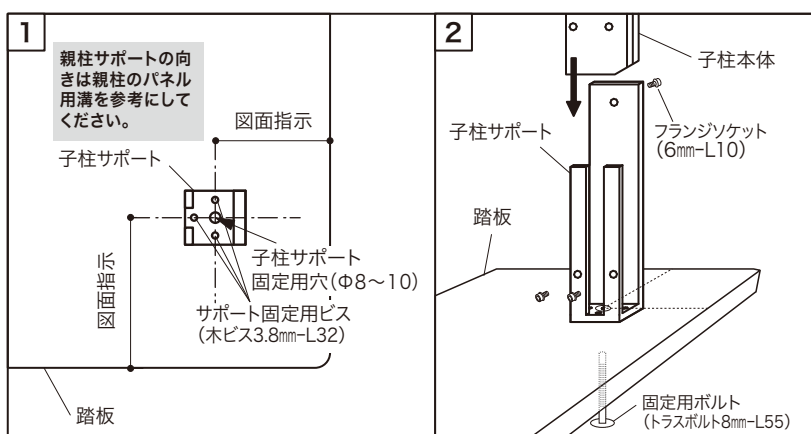
2 親柱（最上段）本体より、取り付けてあるフランジソケット（6mm-L10）を取り外し親柱本体と親柱サポートを取り出してください。（この時点では仮固定テープはまだ取らないでください。手摺ガイドが滑り落ちてきます。）

3 組立図に基づき親柱サポートの中心には固定用下穴（Φ4mm）の加工を行ってください。

4 親柱サポートの柱の溝を参考にして向きを決めてください。部品箱の固定用ビス（トラスビス6mm-L65）にて固定し、部品箱のサポート固定用ビス（木ビス4.3mm-L65）にて固定してください。（※図1参照）

5 親柱サポートに親柱本体を挿入し、取り外したフランジソケット（6mm-L10）で仮固定してください。（締め過ぎると後でパネルもしくはアルミ棧が入らなくなることがあります。）（※図2参照）

② 子柱の取り付け



注意

Φ8~10mm

当て木

※踏板のササクレ等の防止のため、必ず当て木をして下穴加工を行ってください。

1 子柱本体より、フランジソケット（6mm-L10）を取り外し、子柱本体と子柱サポートを取り出してください。（この時点では仮固定テープをまだ取らないでください。手摺ガイドが滑り落ちてきます。）

2 組立図に基づき子柱サポート固定用下穴（Φ8~10mm）の加工を行ってください。

3 子柱サポートの柱の溝を参考にして向きを決めてください。固定用ボルト（トラスボルト8mm-L55）にて仮固定し、柱内の寸法を確認してください。サポート固定用ビス（木ビス3.8mm-L32）を導き穴を空けてから固定してください。（※図1参照）その後、固定用ボルト（トラスボルト8mm-L55）の本固定を行ってください。（※図2参照）

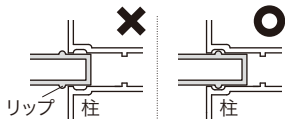
4 子柱サポートに子柱本体を挿入し、取り外したフランジソケット（6mm-L10）で仮固定してください。（※図2参照）

ご注意

フランジソケット（6mm-L10）の固定をし過ぎるとパネルもしくはアルミ棧の取り付けが出来ません。遊びを持たせておいてください。

③ パネル・アルミ棧の取り付け

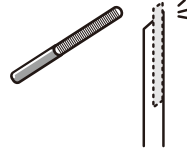
【注意】 パネル・アルミ棧の取り付け時の注意



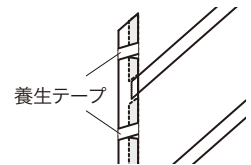
パネル、アルミ棧を柱に差し込む時は、必ず柱の溝にリップを収めてください。



パネル、アルミ棧の鳴りを防ぐために同梱のコーキング剤(バスコークN)は必ず塗布してください。

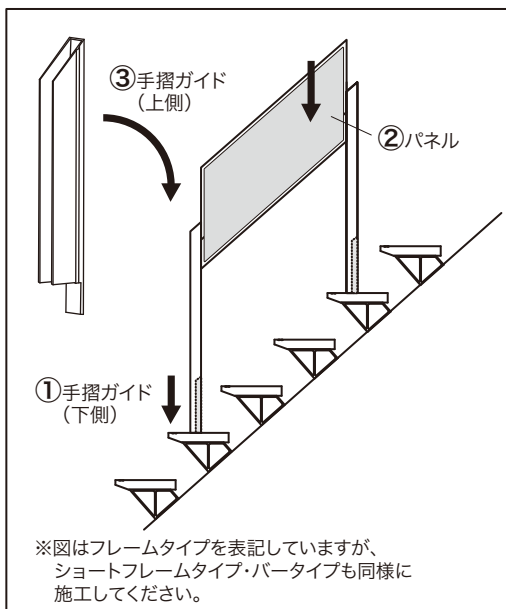


手摺ガイドが出ている場合は、金ヤスリ等で調整してください。



コーキング剤が乾くまで、養生テープ等で手摺ガイドを押さえてください。

◎フレームタイプ・ショートフレームタイプ・バータイプ



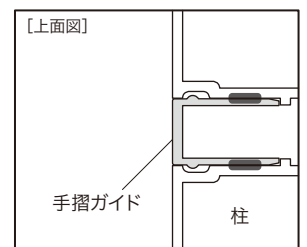
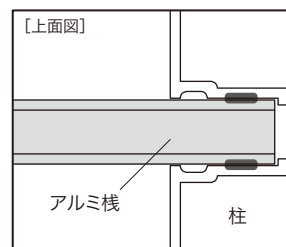
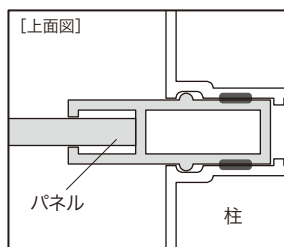
1 本施工前に柱の仮固定テープを取り外し、手摺ガイドをすべて外して仮組みをし、パネルの設置位置を確認してください。

2 仮組みで納まりを確認した後、各部材(パネル、アルミ棧、手摺ガイド)を取り外し、各部材の接合部にコーキング剤を塗布してください。(【コーキング剤塗布位置詳細図】参照)

【注意】

- コーキング剤は適量を塗布してください。
- コーキング剤がはみ出した場合は拭き取ってください。

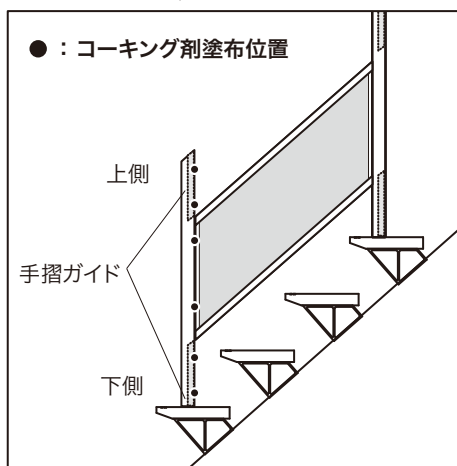
【コーキング材塗布位置詳細図】 ■■■ : コーキング剤塗布位置



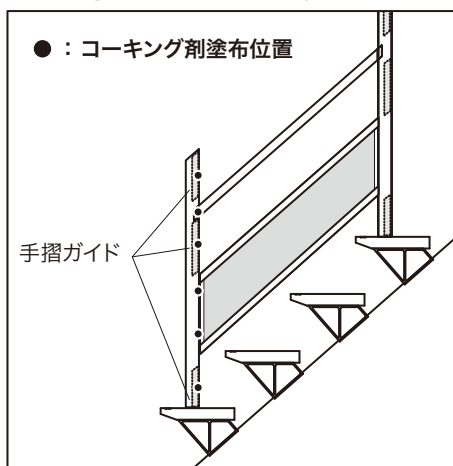
3 各部材(パネル、アルミ棧、手摺ガイド)を再度挿入し、設置を確認してください。

<②~③>の作業を繰り返してください。

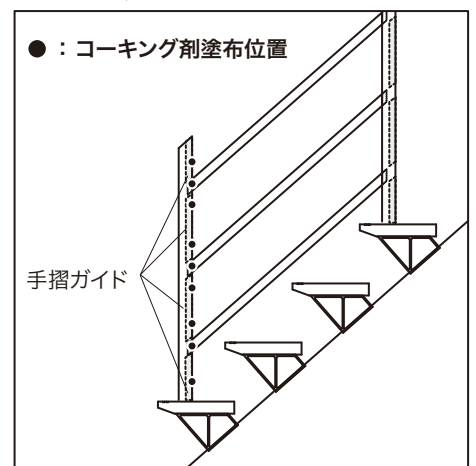
◎フレームタイプ



◎ショートフレームタイプ



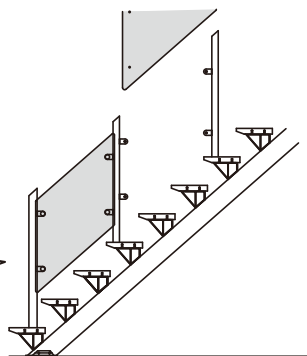
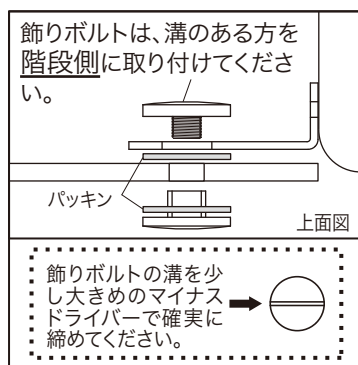
◎バータイプ



29 階段手摺の取り付け

【フレームタイプ】【バータイプ】
【ショートフレームタイプ】
【ポイントタイプ】

◎ポイントタイプ



- 1 同梱の仮ボルトでパネルを1ヶ所仮固定してから、飾りボルトを取り付けてください。
- 2 パネルは飾りボルト(φ30)で取り付け(パネルの保護シートをめくってください)、設置を確認してください。
- 3 パネルと柱の重なり、パネルのとおりを確認した後、本固定してください。
＜②～③＞の作業を繰り返してください。

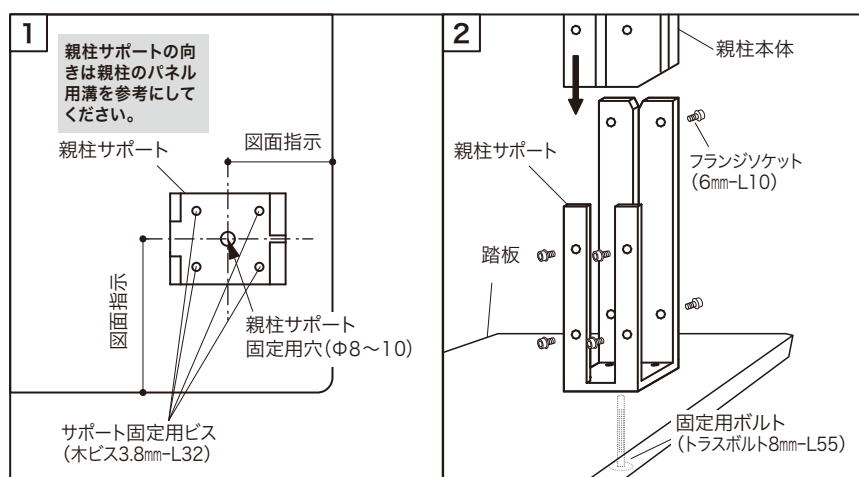
※＜ポイントタイプ＞は、
パネル取付用金具の
向きによって柱が3パ
ターンあります。



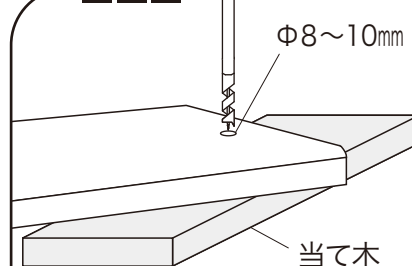
ご注意

- 柱の**垂直、水平**を確認してからパネルを取り付けてくだ
さい。パネルが入らなくなります。
- 笠木を施工する前に、手摺ガイドにコーキング剤を塗布し
てください。(※詳細は28ページ ◎フレームタイプ・
ショートフレームタイプ・バータイプ 2 参照)

④ 親柱(最下段)の取り付け



ご注意



※踏板のササクレ等の防止のため、必ず当て
木をして下穴加工を行なってください。

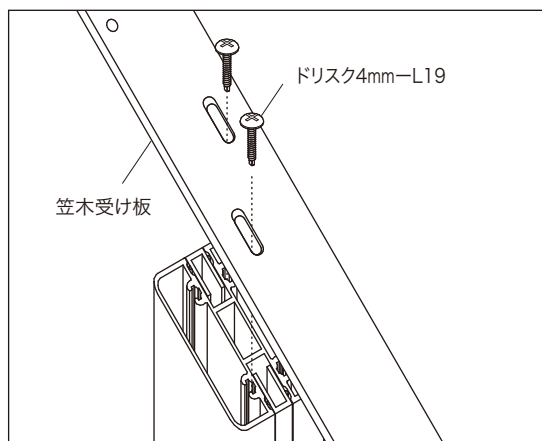
- 1 親柱本体より、**フランジソケット(6mm-L10)**を取り外し、親柱本体と親柱サポートを取り出してください。(この時点では仮固定テープはまだ取らないでください。手摺ガイドが滑り落ちてきます。)
- 2 組立図に基づき親柱サポート固定用穴(φ8～10mm)の加工を行なってください。
- 3 親柱サポートの柱の溝を参考にして向きを決めてください。**固定用ボルト(トラスボルト8mm-L55)**にて仮固定し、柱内の寸法を確認してください。**サポート固定用ビス(木ビス3.8mm-L32)**を導き穴を空けてから固定してください。(※図①参照)その後、**固定用ボルト(トラスボルト8mm-L55)**の本固定を行なってください。(※図②参照)
- 4 親柱サポートに親柱本体を挿入し、取り外した**フランジソケット(6mm-L10)**で仮固定してください。(※図②参照)

笠木の取り付け

30ページをご参照ください。

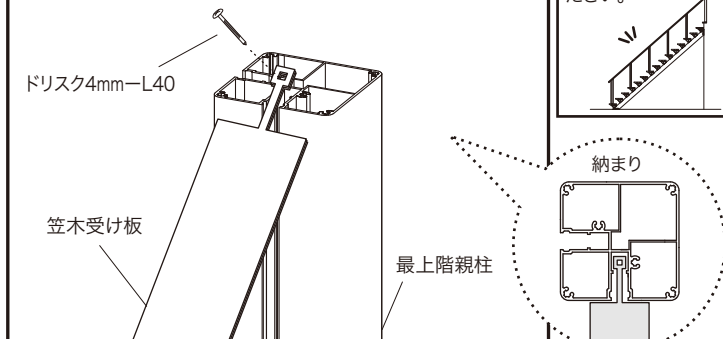
① 笠木受け板の取り付け

◎笠木受け板の裏表を確認してください。



親・子柱の垂直を出してから、笠木受け板を部品箱のビス(ドリスク4mm-L19)で、上部より固定してください。

最上階の親柱はドリスク(4mm-L40)を使用してください。



1 笠木受け板を上から挿入して手摺ガイドで止まるところまで降ろしてください。

2 親柱に導き穴(2mm)を鋼鉄ドリルΦ2で空けてから、ドリスク4mm-L40にて固定してください。

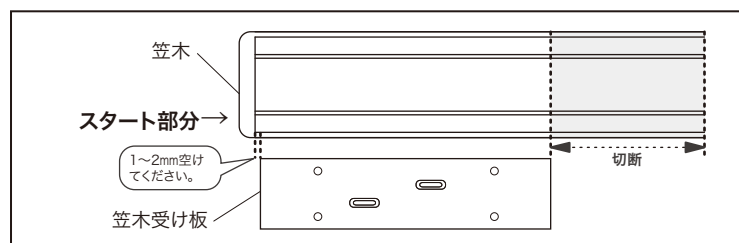
② 柱本体の本固定

柱の垂直度を確認しながら、仮固定を行ったフランジソケット(6mm-L10)を本固定してください。
ポイントタイプの場合、飾りボルト(φ30)も本固定してください。

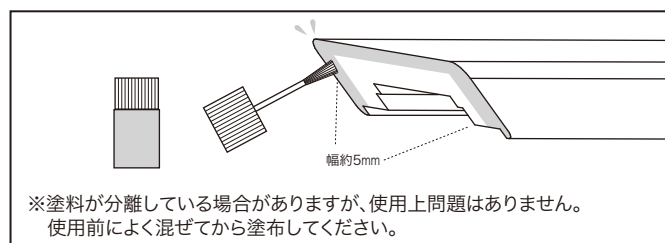
ご注意

柱の固定は確実に行なってください。ボルト、ビス等が緩みますとパネル、パネル板、アルミ棧が外れる恐れがあります。

③ 笠木の切断

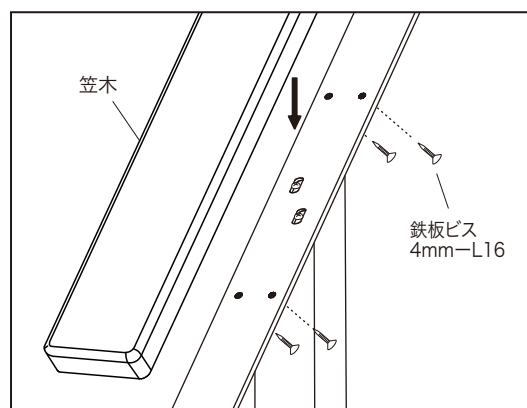


1 笠木を笠木受け板の長さに合わせて切断してください。



2 切断面は笠木に同梱してあるペーパーで切口をきれいに仕上げて塗料を塗ってください。

④ 笠木本体の取り付け



1 笠木本体を部品箱のビス(鉄板ビス4mm-L16)で下部より笠木受け板に固定してください。

※必要に応じて導き穴(2mm)を空けてください。

2 親柱用キャップがある場合、同梱の接着剤を塗布後、親柱用キャップ本体を親柱の上より挿入し固定してください。

3 接着剤の硬化時間は24時間です。

⑤ 養生

アルミ製オープン階段に傷が付かないよう養生してください。

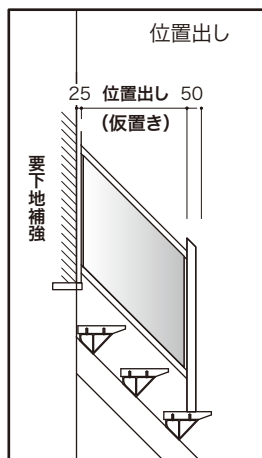
ご注意

養生時に粘着テープなどを直接貼らないでください。表面に傷や汚れが付くおそれがあります。

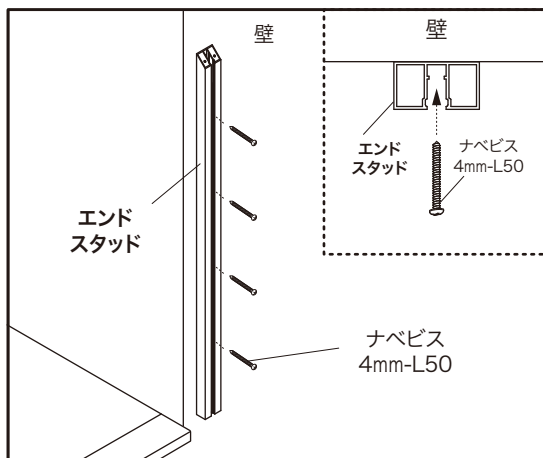
31 エンドスタッド仕様の施工方法

【フレームタイプ】【バータイプ】
【ショートフレームタイプ】
【ポイントタイプ】

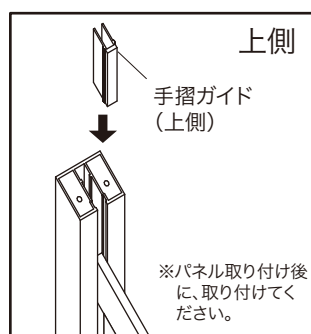
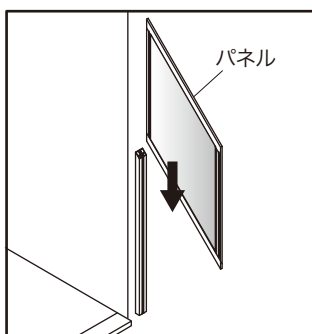
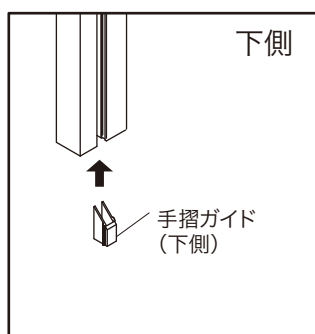
1 エンドスタッドの取り付け



- 1 図面より位置出しを行なってください。
- 2 エンドスタッドをナベビス4mm-L50にて壁に取り付けてください。
- 3 次の柱の位置出しを行なってください。



2 パネルの取り付け

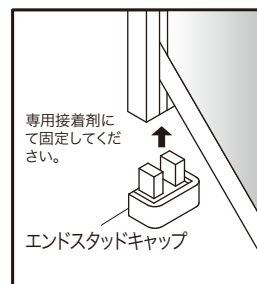
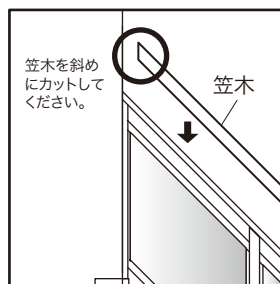
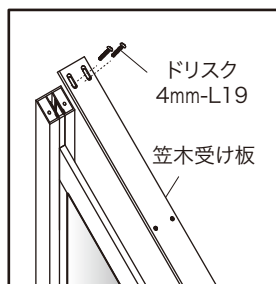


- 1 本施工前に柱の仮固定テープを取り外し、手摺ガイドをすべて外して仮組みをし、パネルの設置位置を確認してください。
- 2 手摺ガイド(下側)を入れ、パネルを入れてください。
必ず各部材(パネル、アルミ棧、手摺ガイド)の接合部にコーキング剤を塗布してください。
- 3 手摺ガイド(上側)を入れてください。
必ず各部材(パネル、アルミ棧、手摺ガイド)の接合部にコーキング剤を塗布してください。
- 4 <2～3>の作業を繰り返してください。

注意

- コーキング剤は適量を塗布してください。
- コーキング剤がはみ出した場合は拭き取ってください。

3 笠木の取り付け

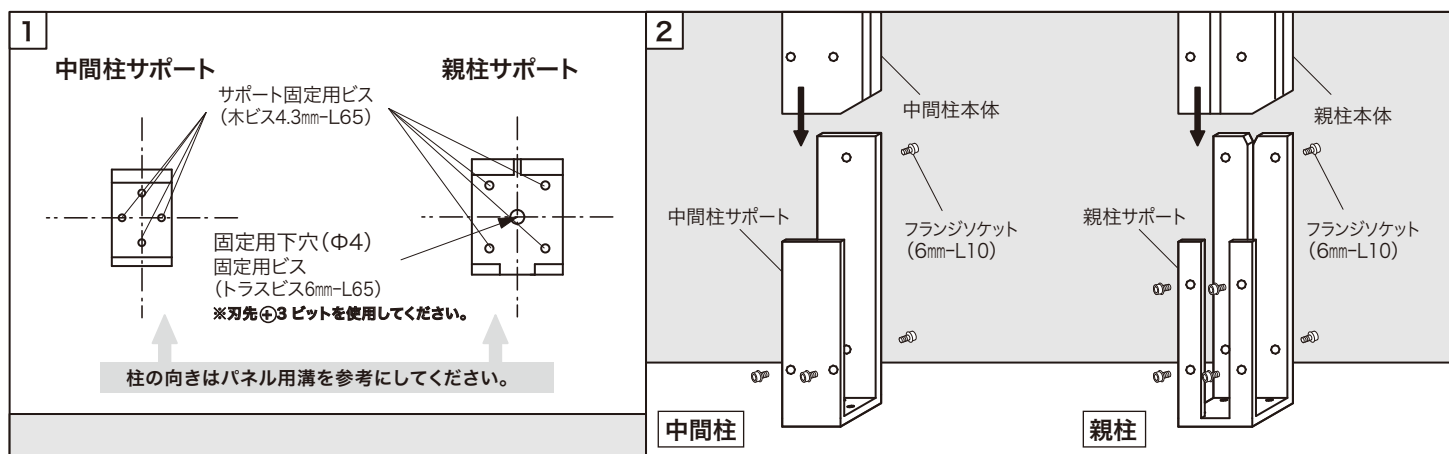


- 1 手摺笠木受け板をドリスク4mm-L19にて取り付けてください。
- 2 笠木を加工し、取り付けてください。
- 3 エンドスタッドキャップを、部品箱の専用接着剤にて取り付け固定してください。



親柱・中間柱の取り付け

<フレーム・ポイントタイプ共通>



- 1 親・中間柱本体より、取り付けである**フランジソケット (6mm-L10)**を取り外し親・中間柱本体と親・中間柱サポートを取り出してください。(この時点では仮固定テープはまだ取らないでください、手摺ガイドが滑り落ちてきます。)
- 2 組立図に基づき親柱サポートの中心には固定用下穴 (Φ4mm)の加工を行ってください。
- 3 親・中間柱サポートの柱の溝を参考にして向きを決めてください。部品箱の固定用ビス(**トラスビス6mm-L65**)にて固定し、部品箱の**サポート固定ビス (木ビス4.3mm-L65)**にて固定してください。(※図1参照)
- 4 親・中間柱サポートに柱本体を挿入し、取り外した**フランジソケット (6mm-L10)**で仮固定してください。(※図2参照)

注意

フランジソケット (6mm-L10)の固定をし過ぎるとパネル板の取り付けが出来ません。遊びを持たせておいてください。

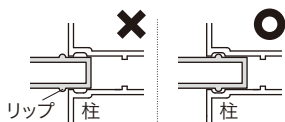
【ポイントタイプ】は、パネル取付用金具の向きを参考にしてください。



パネルの取り付け

① フレームタイプ

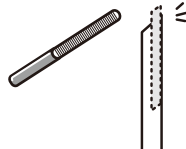
【注意】 パネル・アルミ棧の取り付け時の注意



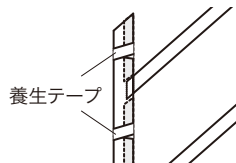
パネル、アルミ棧を柱に差し込む時は、必ず柱の溝にリップを取めてください。



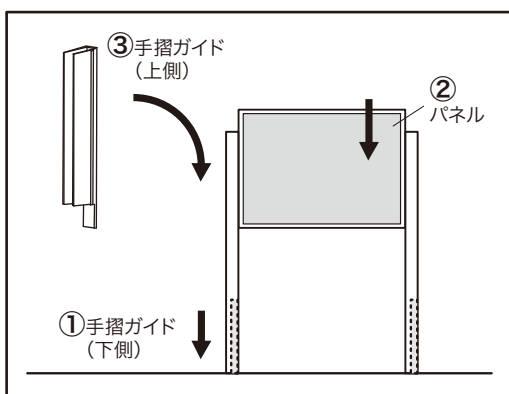
パネル、アルミ棧の鳴りを防ぐために同梱のコーキング剤(バスコークN)は必ず塗布してください。



手摺ガイドが出ている場合は、金ヤスリ等で調整してください。



コーキング剤が乾くまで、養生テープ等で手摺ガイドを押さえてください。



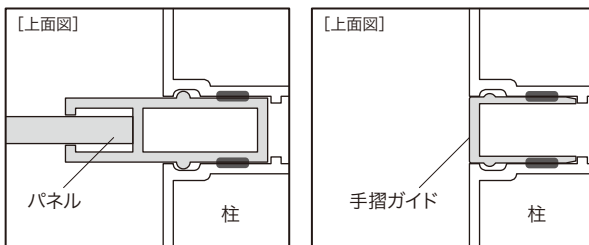
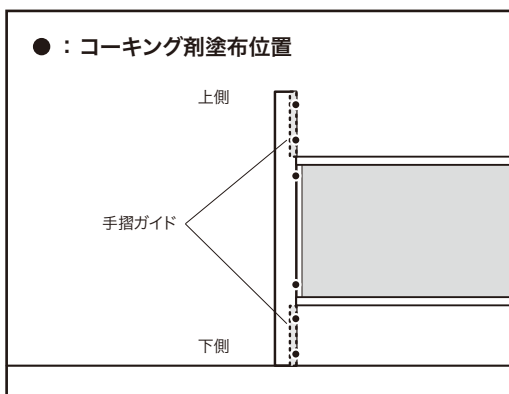
1 本施工前に柱の仮固定テープを取り外し、手摺ガイドをすべて外して仮組みをし、パネルの設置位置を確認してください。

2 仮組みで納まりを確認した後、各部材(パネル、手摺ガイド)を取り外し、各部材の接合部にコーキング剤を塗布してください。(【コーキング剤 塗布位置詳細図】参照)

【注意】

- コーキング剤は適量を塗布してください。
- コーキング剤がはみ出した場合は拭き取ってください。

【コーキング剤塗布位置詳細図】 ■■■ : コーキング剤塗布位置



3 各部材(パネル、手摺ガイド)を再度挿入し、設置を確認してください。

< 親柱・中間柱の取り付け、パネルの取り付け >の作業を繰り返してください。

① ポイントタイプ

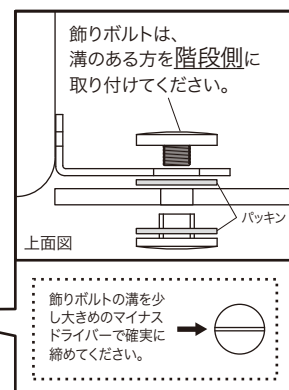
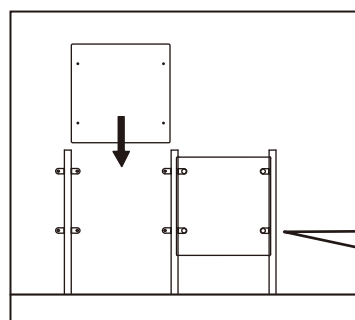
1 同梱の仮ボルトでパネルを1ヶ所仮固定してから、飾りボルトを取り付けてください。

2 パネルは飾りボルト(φ30)で取り付け(パネルの保護シートをめくってください)、設置を確認してください。

【注意】

- 柱の垂直、水平を確認してからパネルを取り付けてください。パネルが入らなくなります。
- 笠木を施工する前に、手摺ガイドにコーキング剤を塗布してください。(※詳細は28ページ ◎フレームタイプ・ショートフレームタイプ・バタイプ 2 参照)

< 親柱・中間柱の取り付け、パネルの取り付け >の作業を繰り返してください。



3 パネルと柱の重なり、パネルのとおりを確認した後、本固定してください。

笠木の取り付け

① 柱本体の固定

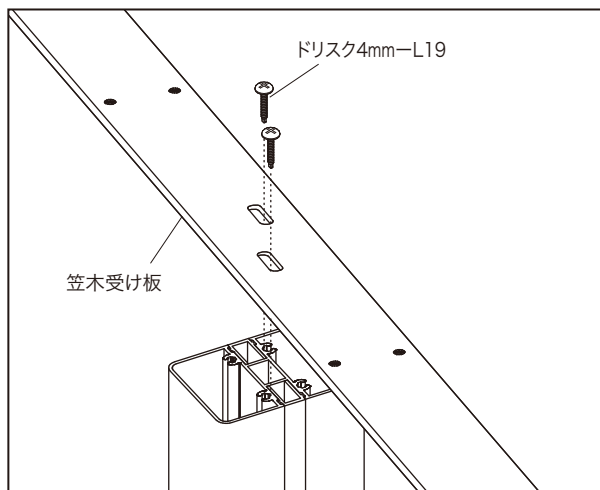
柱の垂直度を確認しながら、仮固定を行った**フランジソケット(6mm-L10)**を本固定してください。

ご注意

柱の固定は確実に行ってください。
ボルト、ビス等が緩むとパネルが外れるおそれがあります。

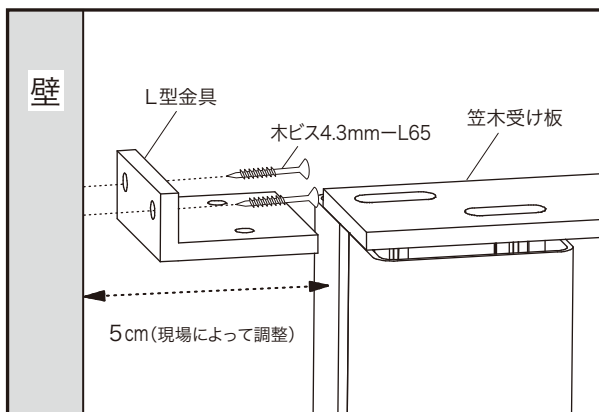
② 笠木受け板の取り付け

◎笠木受け板の裏表を確認してください。

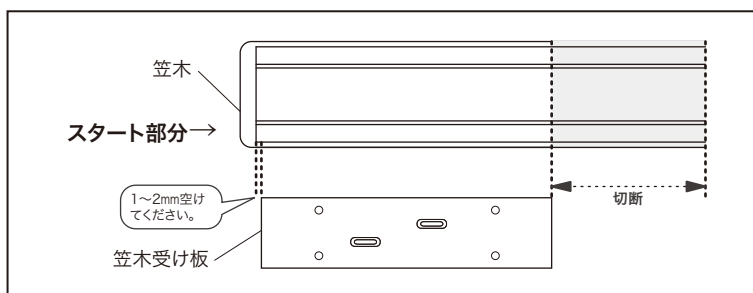


親・中間柱の垂直を出してから、笠木受け板を部品箱のビス(**ドリスク4mm-L19**)で、上部より固定してください。

◎壁との納まり部分

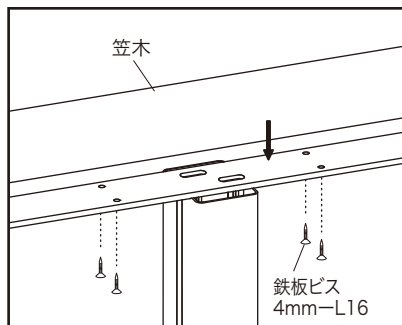


③ 笠木の切断



笠木を笠木受け板の長さに合わせて切断してください。

④ 笠木本体の取り付け



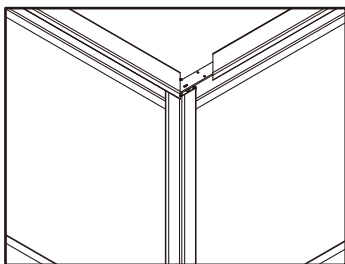
1 笠木本体を部品箱のビス(鉄板ビス4mm-L16)で下部より笠木受け板に固定してください。

※必要に応じて導き穴(2mm)を空けてください。

2 親柱用キャップがある場合、同梱の接着剤を塗布後、親柱用キャップ本体を親柱の上より挿入し固定してください。

3 接着剤の硬化時間は24時間です。

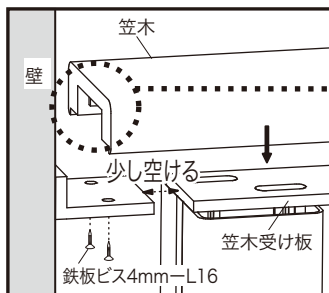
◎角の部分



留め加工をしてください。

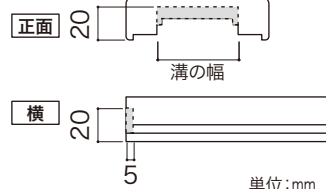
※オプション部材のコーナーキャップを使用の場合は同梱の接着剤にて固定してください。

◎壁との納まり部分



※現場加工にてL型金具を隠してください。

の部分を削ってください。



⑤ 養生

上階用アルミ手摺セットに傷が付かないよう養生してください。

ご注意

養生時に粘着テープなどを直接貼らないでください。表面に汚れが付く恐れがあります。

建築基準法に基づくホルムアルデヒド発散等級

製品名:アルミ製オープン階段
ルミスト

製造者名称:南海プライウッド(株)

発散区分:F☆☆☆☆

ロット番号:製品梱包に記載

— 構成部材 —

部材・部位	材料名	表示区分	認定・登録種類	認定・登録番号	認定登録機関
踏板・笠木	塗装集成材	F☆☆☆☆	自主表示登録	K-002750	(一社)日本建材・住宅設備産業協会

ご注意

この用紙は建築基準法に基づく納入部材の確認書類となりますので、大切に保管して工事責任者へ渡してください。

問合せ先:品質管理チーム 087-894-8025

NANKAI
NANKAI PLYWOOD

南海プライウッド株式会社

本社 〒760-0067 香川県高松市松福町1-15-10

首都圏営業
グループ

首都圏 第1チーム
首都圏 第2チーム

TEL(087)825-3621

FAX(087)825-3645

西日本営業
グループ

近畿営業チーム
中四国営業チーム
九州営業チーム

TEL(087)825-3623

FAX(087)825-3647

TEL(087)825-3624

FAX(087)825-3648

TEL(087)825-3625

FAX(087)825-3649

東日本営業
グループ

北海道・東北営業チーム
関東甲信越営業チーム
中部営業チーム

TEL(087)825-3632

FAX(087)825-3695

TEL(087)806-3660

FAX(087)825-3645

TEL(087)825-3622

FAX(087)825-3646

特需営業
グループ

特需 第1チーム
特需 第2チーム

TEL(087)825-3662

FAX(087)825-3669

TEL(087)825-3662

FAX(087)825-3669